令 和 ４ 年 度

令和　４年４月　１日から
令和　５年３月３１日まで

事 業 報 告 書

公益社団法人
日本海員掖済会

令和４年度事業報告

（令和４年４月１日から令和５年３月３１日まで）

事 業 の 概 要

本会は、掖済（導き、助ける）の精神に基づき、船員に対する医療にかかわる援護事業を行うとともに、社会福祉の増進を図るため、生活保護患者への医療支援及び生計困難者に対する診療費の減免等を行うことを目的として設立された法人である。

また、これらの事業を継続的に実施するための不可欠な基盤として、医療、介護の充実に取り組んでいる。

令和４年度もこのような法人設立の精神に基づき、次の事業を実施した。

特に、令和４年度も新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大が続いたため、本会としてもこれに適切に対応した。

Ⅰ．公益目的事業

１．新型コロナウイルス感染症に関する本会の対応

本会の根幹となる医療・介護事業では、令和２年１月以降に拡大した新型コロナウイルス感染症に関しては、前年度に引き続き感染者・回復者の受入れを行うとともに、PCR 検査・抗原検査等による同感染症の陽性・陰性の判別等を行ったほか、行政の要請を受け、医療従事者向け、高齢者向けに続き、基礎疾患を有する者向け・一般向けのワクチン接種を行った。

また、院内感染を防止するためゾーニング（発熱患者の待機場所の隔離・動線の区分等）やアクリル板の設置等感染防止対策を行ったほか、地域医療施設等へ医師、看護師を派遣し、地域の同感染症患者への医療に協力した。

これに加え、船員への同感染症に対する対応として各病院・診療所において、前年度に引き続き、外航船員等に対する PCR 検査及び抗原検査等、船員に対するワクチン接種の円滑化を図るため、船員に対するワクチン接種を行った。

２．船員支援事業

船員は、洋上にあって船舶という限定された小社会で働き、且つ、生活するといった特殊な労働環境にある。船舶で傷病が発生した場合、直ちに医療機関による医療が受けられず、場合によっては重大な海難事故につながる恐れもある。このため、船員の日常的な健康管理から海上における医療支援まで切れ目のない支援を引き続き行った。

また、このような切れ目のない支援を行うため、本会の各病院において 365 日 24 時間の支援体制を維持するなど適切に対応した。本年度の支援の概要は次の通りである。

乗船前健康診断	2,372 人
船員に対する保健指導等	1,667 人
※水先人に対する身体検査への協力を含む	
無線通信医療相談	142 回
衛生管理者講習等	延 114 日

３．社会福祉事業

掖済の精神に基づき、生活保護患者への医療及び自立支援並びに生計困難者に対する診療費の減免等を引き続き行った。

本年度の実績は、延べ 93,540 人である。

４．地域住民の健康の保持及び増進に寄与する医療を提供する事業

上記１、２、３を継続的に実施するための不可欠な基盤として、全国の主要港等に設置する各病院及び診療所において、船員に限らず地域住民への診療等を行った。

本年度の実績は、入院患者数は延べ 425,552 人で対前年度比 100.6%、外来患者数は延べ 708,532 人で対前年度比 101.7%であった。

５．地域住民の疾病・傷害からの機能回復、社会復帰の促進を支援する介護を提供する事業

介護老人保健施設の入所は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、引き続き低水準での運営で、延べ 53,035 人で対前年度比 95.8%、通所は延べ 7,003 人で対前年度比 88.8%であった。

Ⅱ．収益事業

患者・施設利用者等の利便を図るため、駐車場の提供を行うとともに、物品の販売や食事提供、院外薬局の運営などに携わる外部事業者へ施設の土地や建物の一部区画の貸与等を行った。

令和４年度は、引き続き従前の事業に加え、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大に対し、本会としてもこれに適切に対応し、次の事業を実施した。

Ⅰ．公益目的事業

１．新型コロナウイルス感染症に関する本会の対応

本会の根幹となる医療・介護事業では、令和２年１月以降に拡大した新型コロナウイルス感染症に関して、令和３年度と同様に引き続き感染者・回復者の受入れを行うとともに、PCR検査・抗原検査等による同感染症の陽性・陰性の判別等を行った。

具体的には、以下の対応を行った。

（１）新型コロナウイルス感染症患者等の受入れ

前年度に引き続き、行政とも連携し、小樽掖済会病院、横浜掖済会病院、名古屋掖済会病院、大阪掖済会病院、神戸掖済会病院、門司掖済会病院及び長崎掖済会病院において、新型コロナウイルス感染患者専用病床を確保した。

さらに令和４年１１月からは宮城利府掖済会病院を加え、計８病院で陽性者や回復者の受入れを行った。

（２）ＰＣＲ検査・抗原検査等の実施

令和３年度に引き続き、発熱外来を運営するとともに、行政の求めに応じ、PCR検査・抗原検査等による新型コロナウイルス感染症の陽性・陰性の判別を行った。

なお、これらの検査を合わせた検査実績は40,250件であった。

（３）ワクチン接種の実施

行政の要請を受け、医療従事者向け、高齢者向けに続き、基礎疾患を有する者、一般向けにワクチン接種を行った。

なお、ワクチン接種実績は21,976件であった。

（４）院内感染防止対策

院内感染を防止するため、（２）の検査の実施に加え、令和４年度も引き続き発熱患者の待機場所の隔離・動線の区分等のゾーニング、受付・診療の際の飛沫防止のためのアクリル板等の設置・オンラインでの診療等を行った。

また、介護老人保健施設でも引き続き、入所者と家族とのオンライン面会等の実施による感染防止対策を行った。

（５）地域医療施設等への医師、看護師の派遣

前年度に引き続き、名古屋掖済会病院では、愛知県が設置した新型コロナウイルス感染症調整本部の統括官として、横浜掖済会病院では神奈川県の搬送調整班にそれぞれ医師を派遣するなど、地域の新型コロナウイルス対策に協力した。

（６）船員に対するワクチン接種等について

前年度に引き続き、予約窓口の設置や一部病院では船員向けの接種日を設けるなど、船員に対するワクチン接種を行った。

なお、船員に対するワクチン接種実績は84件であった。

また、国土交通省及び一般社団法人日本船主協会から要請を受け、外航船員の安全を確保するため、同協会に所属する企業の外航船員等に対し、各病院・診療所において、乗船前のＰＣＲ検査等を実施した。

２．船員支援事業

海洋を航行する船舶で働く船員は、危険な場所での労働・職住一致生活など、極めて特殊な労働環境にある。船舶で傷病が発生した場合は、直ちに医療機関によって医療が受けられず、場合によっては重大な海難事故につながる恐れもある。このため、本会の各病院において、船員の日常的な健康管理から海上における医療支援まで切れ目のない支援を引き続き行った。

また、このような切れ目のない支援を行うため、本会の各病院において、特に以下（４）（５）に対応して365日24時間の支援体制を維持するなど適切に対応した。

（１）健康証明書発行

本会の医師は、全員が指定医（船員法施行規則第57条第2号に基づく国土交通大臣及び運輸局長の指定）とされており、乗船前健康診断を迅速に行った。

なお、令和４年度末の指定医の人数は327人であり、船員法83条に基づく健康証明の取扱い人数は2,372人であった。

（２）船員に対する保健指導等

（１）に加え、船員は海上労働の特殊性からその健康管理には特別の配慮を行う必要があることから、生活習慣病予防健診や各種資格に係る身体検査の証明等を行った。

なお、本年度の実績は次のとおりである。

	船員保険生活習慣病予防健診	海技資格免状の取得又は更新の際の健康証明	その他検査
取扱人数	1,116人	419人	132人

そのほか、海の月間及び船員労働安全衛生月間を始めとして、健康相談、予防接種、船内保健衛生指導及び訪船診療を行った。

また、上記月間等を利用して船内衛生に関する講演会等を開催し、船内衛生の向上に協力した。

		令和３年度	令和４年度	前年度比
海の月間	取扱延人数	7人	15人	214.3%
船員労働安全衛月間		4人	1人	25.0%

また、海事関係新聞紙上に健康に関する記事の掲載を年12回行い、これを健康講座として発行した。

（３）船舶衛生管理者講習、同再講習

①　船舶衛生管理者講習

医師が乗船していない船舶における医療や船内の衛生管理を行う船舶衛生管理者（国家資格者）を養成するため、本会の病院において、船舶衛生管理者講習（船員災害防止協会が実施主体）の講義・実習等を行った。本年の実績は次のとおりである。

船舶衛生管理者登録講習（旧船舶衛生管理者講習（Ａ））

一般の大学等を卒業した資格認定希望者が対象

施設	実施期間	受講者数
名古屋掖済会病院	5月11日～6月3日	30人
	7月4日～7月29日	23人

船舶衛生管理者講習（Ｂ）

商船系大学等で一定の科目を履修した者及び卒業生が対象

施設	実施期間	受講者数
横浜掖済会病院	11月29日～12月8日	10人
神戸掖済会病院	11月29日～12月8日	16人

船舶衛生管理者講習（Ｃ）

水産系高校本科で一定の科目を履修した卒業生が対象

施設	実施期間	受講者数
横浜掖済会病院	2月28日～3月10日	10人

なお、水産系高校からの要請により、船舶衛生管理者講習（C）の受講の前提となる履修科目の講義を行った。本年の実績は次のとおりである。

水産系高校が実施する船舶衛生管理者講習（C）の受講の前提となる講義

施設	実施期間	受講者数
小樽掖済会病院	6月29日～1月31日	8人

②　船舶衛生管理者再講習

特定船舶に乗込む衛生管理者に対し5年ごとに受講を義務付けられている講習（一般社団法人外航船員医療事業団が実施主体）を行った。

本年度の実績は次のとおりである。

施設	実施期間	受講者数
神戸掖済会病院	5月12日～6月2日	5人
大阪掖済会病院	10月17日～11月2日	3人

（４）無線通信医療相談

本会の病院は昭和13年に逓信省から指定を受け、以後、航海中の船舶乗組員等に傷病者が発生した場合の無線通信による無料医療相談に対し適切な助言を行ってきており、昼夜を問わず対応できる体制を整えるほか、本年度も引き続き適切な助言を迅速に行った。

無線通信医療相談の本年度の実績は次のとおりであり、通信応答数は対前年度比110.1%であった。

		令和3年度	令和4年度	前年度比
日本船	船舶数	61隻	78隻	127.9%
	通信応答数	127回	138回	108.7%
外国船	船舶数	1隻	2隻	200.0%
	通信応答数	2回	4回	200.0%
計	船舶数	62隻	80隻	129.0%
	通信応答数	129回	142回	110.1%

（５）洋上救急

海上保安庁又は公益社団法人日本水難救済会からの洋上救急往診の要請に対し、昼夜を問わず対応できる体制を常に整えた。

また、令和4年7月8日に塩釜港沖にて、宮城利府掖済会病院の医師1名、看護師1名の計2名が、2月3日に苅田港沖にて、門司掖済会病院の医師1名、看護師1名が洋上救急慣熟訓練に参加し、即応体制の維持に努めた。

（６）船内備置き法定図書の販売

船舶備置き法定図書として本会が発行している「日本船舶医療便覧」、「小型船医療便覧」及び「国際信号書」を販売した。

図　書　名	備置きを必要とする船舶	販　売　数
国土交通省監修 日本船舶医療便覧	沿海区域以上を航行区域とする船舶及び命令で定められた漁船で、甲･乙種衛生用品を備えるもの	179冊
国土交通省監修 小型船医療便覧	丙・丁種衛生用品を備える船舶及び漁船	361冊
海上保安庁監修 和英対訳国際信号書 （解説書付）	総トン数１００トン以上で、沿海区域以上を航行区域とする船舶及び第２種・第３種漁船	263冊

（７）水先人試験への協力、海技資格協力センターへの医師・看護師等の派遣

国土交通大臣が定める医師を定める告示に基づき、水先人試験に伴う身体検査の実施に協力した。なお、本年度の取扱い人数は271人であった。

また、小型船舶操縦者免許証の更新講習等を実施している講習機関の講師資格取得研修を実施する公益財団法人海技資格協力センターに対し、令和４年６月７日に横浜掖済会病院が医師1名、令和4年11月11日に門司掖済会病院が医師1名、技師1名を派遣した。

（８）育英奨学金の貸付

船員の養成に協力するため、海上技術学校及び海上技術短期大学校の学資支弁困難な生徒を対象に無利息で奨学金の貸付けを行った。

本年度における貸付者数は、次のとおりである。

学校名	令和3年度	令和4年度	増減
小樽海上技術学校	7人	8人	+1人
宮古海上技術短期大学	4人	5人	+1人
館山海上技術学校	2人	1人	△1人
波方海上技術短期大学	9人	3人	△6人
清水海上技術短期大学	2人	0人	△2人
唐津海上技術学校	3人	3人	0人
口之津海上技術学校	12人	8人	△4人
計	39人	28人	△11人

３．社会福祉事業

掖済（導き、助ける）の精神に基づき、生活保護者、生計困難者等に対し支援を行った。

（１）生活保護患者への医療及び自立支援並びに生計困難者に対する診療費の免除又は減額並びに各種相談への対応

病院・診療所にソーシャルワーカー等を配置し、生活保護法の適用を受けている者の診療・援護を積極的に進めるとともに、公的援護の対象外にある生計困難者の診療費の免除又は減額の措置を講じたほか、各種の相談に応じた。

本年度の免除又は減額の実績は次のとおりである。

	令和3年度	令和4年度	前年度比
延人数	89,103人	87,763人	98.5%

（２）生活保護者の取扱い及び生計困難者に対する施設使用料の免除又は減額並びに各種相談への対応

介護老人保健施設に支援相談員を配置し、生活保護法の適用を受けている者の施設利用を積極的に進めるとともに、公的援護の対象外にある生計困難者の施設使用料の免除又は減額の措置を講じたほか、両者に対する公的援護の受給手続き等各種の相談に応じた。

本年度の免除又は減額の実績は次のとおりである。

	令和3年度	令和4年度	前年度比
延人数	6,446人	5,777人	89.6%

（３）無料巡回診療等

老人福祉施設等を対象に診療班を派遣して無料診療及び健康相談を行った。

また、名古屋掖済会病院が、歯科医師会の要請により、特別養護老人ホーム、社会福祉法人障害者施設を対象に歯科医師を派遣し、無料歯科検診へ協力した。

本年度の実績は次のとおりである。

		令和3年度	令和4年度	前年度比
無料巡回診療	回数	21回	21回	100.0%
	取扱人数	1,701人	1,735人	102.0%
歯科医師派遣	回数	52回	50回	96.2%
	取扱人数	327人	367人	112.2%

４．地域住民の健康の保持及び増進に寄与する医療を提供する事業

上記１、２、３を継続的に実施するための不可欠な基盤として、全国の主要港等に設置する各病院及び診療所において、船員に限らず地域住民への診療及び健康診断等の予防医療を行った。

これらを実施するに当たり、国の医療政策の変化に対し各地域の医療ニーズに沿った事業展開を進めた。

（１）地域医療への貢献

①　診療患者取扱い

本年度に病院及び診療所において取り扱った入院患者延人員は対前年度比100.6%、外来患者延人員は対前年度比で101.7%となった。

病床利用率は0.4ポイント減少の71.0%となった。

平均在院日数（障害者病棟、地域包括ケア病床を除く。）は前年度と同様の13日となった。

		令和3年度	令和4年度	前年度比
入院患者	実人員	44,347人	44,684人	100.8%
	延人員	423,157人	425,552人	100.6%
外来患者	実人員	455,078人	464,206人	102.0%
	延人員	696,413人	708,532人	101.7%
計	実人員	499,425人	508,890人	101.9%
	延人員	1,119,570人	1,134,084人	101.3%

（詳細については別紙1を参照）

②　地域包括ケア病棟等

横浜掖済会病院、名古屋掖済会病院、神戸掖済会病院、門司掖済会病院及び長崎掖済会病院が、地域包括ケア病棟等において、急性期治療を終了した患者等 に対し、在宅復帰に向けて医療管理、リハビリテーションなどの診療を行った。

本年度の実績は次のとおりである。

	令和3年度	令和4年度	前年度比
取扱人数	53,322人	50,002人	93.8%

③　障害者の福祉に関する事業

宮城利府掖済会病院は、障害者病棟を含め、障害者自立支援法に基づく育成医療及び更生医療機関としてその診療を行った。障害者病棟(50床)の本年度の実績は次のとおりであり、合計の延人員は対前年度比109.9%であった。

	令和3年度	令和4年度	前年度比
取扱人数	14,646人	16,091人	109.9%

（２）地域住民に対する保健指導及び疾病予防

新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、状況を確認しながら出来る限り地域住民に対する健康に関する講演会を随時開催し、医療知識の啓蒙を図った。

また、健康診断や健康相談を行うなど、高齢化の進展に伴い、がんや生活習慣病等及び近年流行の兆しがみえる各種感染症の早期発見と予防に努めた。

（３）救急体制の維持

事故又は災害による救急患者の救護を行った。

本年度の実績は次のとおりであり、救急患者延数は対前年度比106.6%であった。

		令和3年度	令和4年度	前年度比
救急患者数	救急車受入台数	25,281人	28,413人	112.4%
	自家用車等	38,182人	39,269人	102.8%
計		63,463人	67,682人	106.6%

また、傷病者が出る恐れのある各種行事の際には、最寄りの病院から救護班を派遣して救護に務めた。本年度の実績は次のとおりである。

	令和3年度	令和4年度	前年度比
救護班派遣回数	61回	64回	104.9%

（４）人材育成

①　医師及び歯科医師の臨床研修

名古屋病院は医師や歯科医師の臨床研修を行う施設として、小樽掖済会病院、宮城利府掖済会病院、横浜掖済会病院、大阪掖済会病院、神戸掖済会病院、長崎掖済会病院は医師の臨床研修を行う施設として、門司掖済会病院は歯科医師の臨床研修を行う施設としてそれぞれ厚生労働省の指定を受けており、臨床研修を通じて医療の向上に寄与した。

また、大学からの委託を受けて、医学生の実習に協力した。

本年度の実績は、次のとおりである。

	令和3年度	令和4年度
研 修 医 師	49人	37人
医　学　生	54人	57人
研修歯科医師	1人	3人

②　看護師等の養成

えきさい看護専門学校において看護師の養成を行った。

	令和3年度	令和4年度
養成看護師数	122人	123人

また、施設においては、看護学校及び医療技術者養成学校等からの委託を受けて、生徒の実習養成に協力した。本年度における実績は、次のとおりである。

	令和3年度	令和4年度
小樽掖済会病院	51人	57人
横浜掖済会病院	0人	29人
名古屋掖済会病院	735人	675人
大阪掖済会病院	8人	13人
神戸掖済会病院	156人	193人
門司掖済会病院	18人	56人
長崎掖済会病院	12人	28人
介護老人保健施設えきさい大阪	78人	53人
計	1,046人	1,104人

（５）訪問看護事業

在宅医療の充実を図るため、長崎掖済会病院の訪問看護ステーションえきさいでは、定期的な病状の観察、医師の指示による医療行為のほか、食事服薬指導、家庭でのリハビリテーション、在宅移行支援等を行った。

なお、本年度の実績は次のとおりである。

	令和3年度	令和4年度	前年度比
取扱延人数	1,192人	3,879人	325.4%

（６）医学的研究

病院において、疾病に関する各種の研究を行い、学会等に発表し、医学の進歩に寄与した。（詳細については別紙２を参照）

５．地域住民の疾病・傷害からの機能回復、社会復帰の促進を支援する介護を提供する事業

介護老人保健施設において、看護・医学的管理の下における介護、リハビリテーションを中心にレクリエーションや日常生活のサービスを提供し、在宅復帰を支援するほか、デイサービスを行った。

（１）介護老人保健施設の運営

本年度の実績は次のとおりであり、合計の延人員は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け引き続き低水準での運営で、対前年度比94.9%となった。

		令和3年度	令和4年度	前年度比
入所者	実人員	2,024人	1,982人	97.9%
	延人員	55,348人	53,035人	95.8%
通所者	実人員	951人	862人	90.6%
	延人員	7,888人	7,003人	88.8%
計	実人員	2,975人	2,844人	95.6%
	延人員	63,236人	60,038人	94.9%

（詳細については別紙1を参照）

（２）居宅介護支援事業所

長崎掖済会病院の居宅介護支援事業所えきさいでは、居宅介護サービス等が適切に利用できるようにケアプランを作成し、各サービスの調整や老人ホーム等の利用調整を行った。

なお、令和４年度の取扱延人数は929名であった。

６．その他の事業

施設の整備拡充

令和4年度の病院・診療所・介護老人保健施設、看護専門学校の増改築工事等及び医療機器・一般備品等に関する整備拡充については、別紙３のとおり。

Ⅱ．収益事業

（１）患者用・施設利用者用駐車場提供業務

各施設において患者等の通院及び施設利用者等の通所に不可欠な駐車場の提供を行った。

（２）不動産賃貸事業

患者・家族等への物品販売や食事提供、院外薬局の運営などに携わる外部事業者へ施設の土地や建物の一部区画を賃貸した。

（３）物品販売・手数料事業等（含む公衆電話）

患者・施設利用者等の便宜を図るため、自動販売機、コインランドリー等の販売を外部業者へ委託し、手数料収入等を得た。

なお、本部においては、本部ビル等の貸室、駐車場・駐輪場の不動産賃貸業及び自動販売機設置による物品販売事業を実施していたが、令和4年3月の不動産売却に伴い、同事業は停止している。

Ⅲ．内部管理体制の概要

本会における一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(平成１８年法律第４８号）第９０条第４項第５号の体制の整備の概要は、以下のとおりである。

１．理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

(1) 本会全体の経営理念及び行動規範を次のとおりとする。

① 本会全体の経営理念

掖済の精神（生活の困難な人を始め広く地域住民に対し支援の手を差し伸べる精神）をもって社会貢献します。

② 本会全体の行動規範

ア 常に使命を認識しつつ、業務の効率性の確保に留意します。

イ 法令、定款及び一般的な社会規範を遵守します。

(2) 本会の対外イメージの向上を図り、看護師等職員確保に役立て、かつ職員の一体感の醸成を図るため、本会の経営理念を表象するＣＩ活動を推進する。

２．理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

(1) 文書の管理は、文書管理規程による。

(2) 本部及び施設に総括文書管理者等を置き、体制を整備する。

(3) 部内の意思決定及び部内意思の本会内外への伝達（各種契約等の締結を含む。）は、原則として、起案文書に基づく決裁による。

(4) 理事会及び部内の主な会議については、議事録を作成する。

(5) 個人情報の保護に関する管理は、本部または各施設の個人情報（特定個人情報を含む）の保護に関する規程による。

３．損失の危険の管理に関する規程その他の体制

(1) 自然災害に対しては、耐震化、衛星携帯電話の整備、備蓄等のハード面の対応を進めるとともに、対応マニュアル等を策定し、本会内のネットワークを構築するなど被害の波及の最小化と災害への適切な対応に努める。

(2) 金融資産に係るリスクに関しては、資産管理運用規程を設けるなど、極力リスクの回避及び極小化に努める。

(3) 経営上のリスクに関しては、本部企画部を中心に、その影響を把握・分析し、対応方策を講じる。

(4) 施設にあっては、感染症対応マニュアル、医療事故対応マニュアル、ヒヤリハット・マニュアルなどリスク対処方針をマニュアル化するとともに、体制の改善、追加に努める。

(5) 本部及び施設においてＢＣＰ（業務継続計画＝Ｂusiness Ｃontinuity Ｐlan）を策定し、計画に基づく訓練等の定期的な実施を図る。

４．理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

(1) 理事会を原則として年３回定期的に開催し、代表理事及び業務執行理事は、職務執行の状況を適宜報告する。

(2) 重要案件については、代表理事及び業務執行理事は、必要に応じ部内の会議の議を経てその検討状況を理事会に報告する。

(3) 会計事務手続きを会計規程及び新会計マニュアルに統合し、会計処理上のチェック体制についてのルールを明確にするとともに定期的に見直す。

(4) 本部、施設とも毎月の稼働成績、決算等の経営分析を毎月経営会議で行い、必要があれば直ちに対策に着手する。

(5) 各部門において業務に関する規程及びマニュアルを作成し、定期的に見直しをする。

(6) 施設ごとに中期経営ビジョン及び計画を作るよう努める。

５．使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

(1) 業務執行理事のうち１名を法令等遵守責任者に任命する。法令等遵守責任者は、法令若しくは定款に違反し、又は違反している恐れがある事実を知ったときは、直ちに会長に報告する。業務執行理事は、事案処理の方針及び体制を決定する。

(2) 法令等遵守に係る事項は、本会全体として開催する会議、施設における諸会議等において検討し、全会的に理解が得られるよう努める。

(3) 施設に対する本部監査及び監査法人監査は、ほぼ３年に１回は受けることとなるよう計画し、これらの監査を通じて、業務の効率性の確保などのほか法令等遵守の徹底が図られるよう努める。

(4) 外部からの苦情を受け付ける窓口を本部及び施設に設置し、苦情処理マニュアルに基づき処理する。また、内容は、定期的に本部又は施設の経営会議等に報告し、改善策を講じる。

(5) 内部通報制度の導入により不正行為等の早期発見と是正を図る。

６．ＩＴ体制

(1) 部門ごとに不正入力、入力ミス等の防止・発見を行える体制の構築を図る。

(2) 本部又は施設の建物等に災害等に伴う甚大な被害が生じた場合にも重要な情報を保全できるようバックアップシステムを整備する。

(3) 基幹システム（医事、電子カルテ、オーダリング、会計、人事等）の誤作動、稼働停止等に対する対応マニュアルを整備する。

(4) 基幹システムは、サイバーアタック等によるウィルス感染や誤作動を防止するため、インターネットと完全に分離した専用回線を使用する。また、情報漏えい防止のため、原則として外付け記録媒体を接続しないこととし、例外的に接続する際は規則に従い厳格な運用を行う。

(5) インターネットに接続するサーバー、クライアントパソコンには、ウィルス対策ソフトを導入し、パターンファイルの更新を定期的に行う。

事業報告の附属明細書

令和 4 年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書は、作成しない。

［参考］本会の現状

１．会員の現状

本年度末における本会会員の現状は、次のとおりである。

会　　員	61 名

２．役員及び職員の現状

本年度末における役員及び職員の現状は、次のとおりである。

理　　事	16 名
監　　事	2 名
顧　　問	1 名
有　給　職　員	3,085 名

３．病院、診療所、介護老人保健施設及び看護専門学校の現状

本年度末において本会が設置運営する病院、診療所、介護老人保健施設及び看護専門学校は、次のとおりである。

病　　院	8 施設（病床数 1,787 床）
診　療　所	1 施設
介護老人保健施設	2 施設（定員　188 名）
看護専門学校	1 施設（定員 1～3 年 各 40 名）

病院、診療所、介護老人保健施設及び看護専門学校の所在地、診療科目及び病床数は、別紙 4 のとおりである。

令和４年度診療患者その他取扱成績表

病院及び診療所

施設別 ＼ 種別		入院患者 新患	入院患者 実人員	入院患者 延数	入院患者 退院	入院患者 死亡	外来患者 新患	外来患者 実人員	外来患者 延数	外来患者 死亡	公衆衛生 健康検査	公衆衛生 予防接種
病院	小樽	2,675	3,488	26,013	2,696	92	4,276	22,027	28,157	1	3,947	1,851
	宮城利府	739	1,680	27,505	758	119	6,760	23,560	46,007	4	5,439	8,549
	横浜	1,644	2,250	23,930	1,642	113	2,035	25,233	41,436	0	1,352	7,173
	名古屋	15,500	21,470	185,179	15,560	938	58,268	227,625	315,462	378	13,994	1,213
	大阪	2,270	2,838	25,081	2,289	40	17,768	31,788	53,757	0	3,427	1,091
	神戸	5,625	8,671	87,009	5,654	378	15,790	69,532	114,132	130	1,168	613
	門司	1,619	2,339	20,396	1,627	44	4,348	33,326	60,053	0	3,762	868
	長崎	1,030	1,948	30,439	1,050	21	5,166	30,679	49,070	0	2,969	1,172
診療所	名古屋埠頭	0	0	0	0	0	37	436	458	0	1,480	9
	広島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		31,102	44,684	425,552	31,276	1,745	114,448	464,206	708,532	513	37,538	22,539
前年度比	増・減（△）	△ 148	337	2,395	1,658	56	8,448	9,128	12,119	87	△ 12,913	△ 10,474

注１：入院及び外来の数字は員数を示し、公衆衛生の数字は件数を示す。

介護老人保健施設

施設 ＼ 種別	入所者 新規	入所者 実人員	入所者 延数	入所者 退所	入所者 死亡	通所者 新規	通所者 実人員	通所者 延数	通所者 死亡	公衆衛生 健康検査	公衆衛生 予防接種
えきさい横浜	45	909	26,246	61	15	10	227	1,246	0	0	0
えきさい大阪	253	1,073	26,789	260	0	83	635	5,757	0	0	0
計	298	1,982	53,035	321	15	93	862	7,003	0	0	0
前年度比増･減(△)	9	△ 158	△ 2,313	50	7	42	△ 83	△ 885	△ 2	0	0

医学的研究

施設名 No.	課題	研究者（※は部外者）	発表方法（発表時期）
小樽掖済会病院（№1.～32.）			
1.	上行結腸間膜の十二指腸透見部から行う十二指腸LECS	診療部長 植木知身	第76回 手術手技研究会 (2022.5)
2.	【図説「胃と腸」画像診断用語集2022】画像所見　腸　白色絨毛（図説）	医長 中村元 他1名	胃と腸 (2022.5)
3.	大腸腫瘍に対する内視鏡診断・治療の将来展望　0.6%アルギン酸ナトリウム局注液を用いた大腸ESDの治療成績	医長 中村元 他2名	第103回 日本消化器内視鏡学会総会 (2022.5)
4.	深層学習によるポリープ自動検出システムの構築に向けた基礎検討	副技師長 大家祐介	第20回 日本消化管CT技術学会 総会・学術集会 (2022.6)
5.	内視鏡挿入困難症例に対する大腸CT検査における完遂率の検討	技師 小林穂乃香	第20回 日本消化管CT技術学会 総会・学術集会 (2022.6)
6.	【小腸疾患 ―診断・治療の最新動向―】良性腫瘍　リンパ管腫（解説）	医長 中村元 他1名	日本臨床 (2022.7)
7.	【好酸球性消化管疾患のすべて】その他の好酸球関連消化管疾患　好酸球浸潤をきたす腸管感染症（解説）	医長 中村元 他1名	消化器内視鏡 (2022.8)
8.	大腸ESD（Endoscopic submucosal dissection）における軟性内視鏡用回収バッグ　エンドキャリーラージタイプの使用経験	医長 櫻田晃 他9名	第125回 日本消化器内視鏡学会北海道支部例会 (2022.9)
9.	術後27年目に肝転移再発を来したAFP産生胃癌の1例	医長 中村元 他9名（※1名）	日本消化器病学会北海道支部例会・日本消化器内視鏡学会北海道支部例会 131回・125回 (2022.9)
10.	消化器腫瘍に対する軟性鏡・硬性鏡を用いた管腔内治療のcutting edge　表在性非乳頭部十二指腸腫瘍に対する非穿孔式腹腔鏡内視鏡合同手術の治療成績	医長 中村元 他4名	日本消化器病学会北海道支部例会・日本消化器内視鏡学会北海道支部例会 131回・125回 (2022.9)
11.	双孔式ストーマ脱に対しAltemier変法を応用した修復術が有用であった症例	診療部長 植木知身 他3名（※1名）	第43回 日本大腸肛門病学会北海道支部例会 (2022.10)
12.	陰圧閉鎖療法にて治療を行った肋間筋膿瘍の1例	診療部長 野田愛 他4名	第39回 北海道ストーマリハビリテーション研究会学術集会 (2022.10)
13.	びまん浸潤型形態を呈し診断に苦慮した胃癌直腸転移の1例	医長 中村元 他9名（※1名）	第43回 日本大腸肛門病学会北海道支部例会 (2022.10)

14.	施設紹介「ちょっと隣をみてみたい」	看護師 土田祐子	第48回 北海道消化器内視鏡技師会研究会 (2022.10)
15.	肛門管癌の陰嚢皮膚転移の1例	医員 待木隆志	第84回 日本臨床外科学会総会 (2022.11)
16.	「はなれない！」で転倒を減らそう	主任看護師 真田美奈 他5名	第17回 医療の質・安全学会学術集会 (2022.11)
17.	黙食で感染リスクを減らせ！	看護部長 久保亜佐子 他4名	第17回 医療の質・安全学術集会 (2022.11)
18.	手術室ラウンドとAST活動	主任薬剤師 四藤大介	大塚製薬工場株式会社研修会 (2022.11)
19.	仮想大腸展開像における隆起性病変の自動所見に向けた試み（第一報）	技師 佐藤哲太	令和4年度 一般社団法人 北海道放射線技師会研修会（小樽後志放射線技師会秋季研究発表会）（第422回研修会） (2022.11)
20.	超高精細CTの初期使用経験	副技師長 大家祐介	令和4年度 一般社団法人 北海道放射線技師会研修会（小樽後志放射線技師会秋季研究発表会）（第422回研修会） (2022.11)
21.	当院における十二指腸LECSの長・短期成績	診療部長 植木知身 他3名（※1名）	第35回 日本内視鏡外科学会総会 (2022.12)
22.	仮想大腸展開像における隆起性病変の自動検出の試み	技師 佐藤哲太	第5回 日本消化管 Virtual Reality 学会 総会・学術集会 (2023.1)
23.	消化器専門病院における超高精細CT運用の検討	副技師長 大家祐介	第6回 超高精細CT研究会 (2023.1)
24.	挙上腸管の間膜絞扼による人工肛門壊死の一例	診療部長 野田愛 他4名	第40回 ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会 (2023.2)
25.	「Medikaru staffからみたカプセル内視鏡業務の問題点」	看護師 鈴木旭子	第16回 日本カプセル内視鏡学会 (2023.2)
26.	AST主導でRoseomonas mucosaによる肝膿瘍を治癒し得た一例	主任薬剤師 四藤大介	後志病院薬剤師会会員研究発表会 (2023.2)
27.	内視鏡挿入困難症例に対する大腸CT検査における完遂率の検討	技師 小林穂乃香	第5回 日本大腸検査学会北海道支部例会 (2023.2)
28.	当院で経験したdouble pylorusの3例	医長 中村元 他8名	日本消化器病学会北海道支部例会・日本消化器内視鏡学会北海道支部例会 132回・126回 (2023.3)
29.	2つの胃印環細胞癌に対して内視鏡的粘膜下層剥離術で一括切除した1例	医長 櫻田晃 他8名（※1名）	第126回 日本消化器内視鏡学会北海道支部例会 (2023.3)
30.	突発性食道粘膜下血腫の1例	医長 小松悠弥 他9名	第126回 日本消化器内視鏡学会北海道支部例会 (2023.3)
31.	2つの胃印環細胞癌に対して内視鏡的粘膜下層剥離術で一括切除した1例	医長 櫻田晃 他8名（※1名）	第126回 日本消化器内視鏡学会北海道支部例会 (2023.3)

32. COVID-19流行下の当院での内視鏡検査の現状	医長	平田裕哉 他8名	第126回 日本消化器内視鏡学会北海道支部例会 (2023.3)

宮城利府掖済会病院 (№33.～41.)

33. 高血圧治療薬を服用すると動悸などを生じ高血圧治療が困難であった患者がビソプロロール、抑肝散加陳皮半夏湯の服用及び生活指導で高血圧治療が可能となった症例報告	副院長・内科	Dai Katayose	Traditional & Kampo Medicine (2022.9)
34. Covid19感染症後遺症の漢方療法	副院長・内科	片寄大	日本東洋医学会東北支部 第23回 宮城県部会 (2022.11)
35. 現代循環器病学的治療が困難な高齢心不全患者が五苓散、滋陰降火湯の併用で治癒した1例報告	副院長・内科	Dai Katayose	2nd Online International Conference on Traditionl and Alternative Medicine (2022.4)
36. 漢方医学	副院長・内科	片寄大	経絡治療学会東北支部令和4年度例会 (2023.1)
37. 外来における継続看護について	主任看護師	菅野トモ子 他1名	院内看護研究発表会 (2022.11)
38. 外来における継続看護について	看護師	庄司由紀江 他1名	院内看護研究発表会 (2022.11)
39. シャントエコーについて	臨床検査技師	渡辺靖則	シャントエコーについての技術指導 (2022.7)
40. 心電図の判読セミナー	臨床検査技師	渡辺靖則	院内心電図セミナー (2022.7)
41. シャントエコーの基礎	臨床検査技師	渡辺靖則	宮城腎不全看護研究会 シャントエコーの基礎 (2022.10)

横浜掖済会病院 (№42.～62.)

42. Accuracy of the Fracture Risk Assessment Tool for judging pharmacotherapy initiation for primary osteoporosis	整形外科部長	藤巻洋 他4名(※1名)	Journal of Bone and Mineral Metabolism 40巻5号 Page860-868 (2022.9)
43. 人工膝関節全置換術施行患者における骨折リスクの比較評価	整形外科部長	藤巻洋 他4名(※1名)	日本人工関節学会誌 52巻 Page523-524 (2022.12)
44. 原発性骨粗鬆症薬物治療開始基準に対するFRAXの正確度評価	整形外科部長	藤巻洋 他3名(※1名)	第66回 日本リウマチ学会総会・学術集会 (2022.4)
45. DXA法及びFRAXを用いた新規椎体圧迫骨折患者における危険因子の検討	整形外科副部長	富岡政光 他3名(※1名)	第66回 日本リウマチ学会総会・学術集会 (2022.4)
46. 大腿骨近位部での骨密度測定部位の違いが骨粗鬆症薬物治療開始基準の判定に与える影響	整形外科医員	矢守哲也 他3名(※1名)	第66回 日本リウマチ学会総会・学術集会 (2022.4)
47. 骨粗鬆症に対する薬物治療開始基準に対するFRAX®の正確度の評価	整形外科部長	藤巻洋 他4名(※1名)	第95回 日本整形外科学会総会 (2022.5)
48. DXA法による大腿骨近位部での骨密度測定における部位間での測定値の差に影響を及ぼす因子の検討	整形外科医員	矢守哲也 他4名(※1名)	第95回 日本整形外科学会総会 (2022.5)

49.	DXA法及びFRAXを用いた新規椎体圧迫骨折危険因子の検討	整形外科副部長　富　岡　政　光 他2名	第48回 日本骨折治療学会 (2022.6)
50.	橈骨遠位端骨折患者における骨折リスクの比較評価	整形外科医員　矢　守　哲　也 他2名	第48回 日本骨折治療学会 (2022.6)
51.	DXA法及びFRAXを用いた新規椎体圧迫骨折患者における危険因子の検討	整形外科副部長　富　岡　政　光 他4名(※1名)	第50回 日本関節病学会 (2022.10)
52.	測定部位毎の骨密度変化率の関係性についての検討	整形外科医員　釜　田　祥　史 他4名(※1名)	第50回 日本関節病学会 (2022.10)
53.	骨粗鬆症合併患者に対する人工膝関節全置換術後急性期でのゾレドロン酸点滴静注製剤の安全性に関する検討	整形外科部長　藤　巻　　洋 他4名(※1名)	第53回 日本人工関節学会 (2023.2)
54.	保存加療にて良好な経過をたどったモンテジア骨折の一例	整形外科医員　釜　田　祥　史	第71回 Yokohama Orthopedic conference (2022.9)
55.	上腕三頭筋腱剥離骨折にsuture bridge法を施行した一例	整形外科医員　松　原　譲　二	第71回 Yokohama Orthopedic conference (2022.9)
56.	当院での骨粗鬆症包括的診療	整形外科部長　藤　巻　　洋	第71回 Yokohama Orthopedic conference (2022.9)
57.	FRAX®を活用した骨粗鬆症診療の取り組み	整形外科部長　藤　巻　　洋	第3回 三浦半島骨粗鬆症セミナー (2022.9)
58.	骨粗鬆症診療における骨密度測定部位の重要性	整形外科部長　藤　巻　　洋	横浜股関節骨粗鬆症研究会 (2022.12)
59.	小児脛骨triplane骨折に対して生体内吸収性骨接合材を使用した経験	整形外科副部長　富　岡　政　光	第72回 Yokohama Orthopedic conference (2023.3)
60.	手指PIP関節内骨折に対して創外固定を早期可動域訓練を行った一例	整形外科副部長　鹿野島　祐　子	第72回 Yokohama Orthopedic conference (2023.3)
61.	かながわ緊急酸素投与センターの有用性と課題	内科部長　長　倉　秀　幸	第96回 日本感染症学会総会・学術講演会 (2022.4)
62.	Role of the Intramural Vascular Network of the Extrahepatic Bile Duct for the Blood Circulation in the Recipient Extrahepatic Bile Duct Used For Duct-to-Duct-Biliary-Anastomosis in Living Donor Liver Transplantation	外科部長　山　口　直　孝 他1名(※10名)	Transplant International (2022.5)

名古屋掖済会病院 (№63.～450.)

血液内科

63.	多彩な神経症状が出現し、治療抵抗性であったcytotoxic γ-δ T細胞性リンパ腫の1例	専攻医　倉内榛菜 他4名	第11回 日本血液学会東海地方会 (2022.6)
64.	腰痛精査で診断に至ったPh1陽性急性リンパ性白血病の1例	医員　小川磨育子 他4名	第11回 日本血液学会東海地方会 (2022.6)
65.	当院でのUnfit AML患者に対するVenetoclax使用経験	専攻医　倉内榛菜	AbbVie Hemato-Oncology Seminar (2022.12)

66. 子宮全摘により診断に至った血管内大細胞型B細胞性リンパ腫	医　員	小川 磨育子 他7名	臨床血液 Vol.63 (3)　(2022.3)
67. 脾臓摘出により速やかな貧血の改善をみた脾原発炎症性偽腫瘍	医　員	小川 磨育子 他6名	日本内科学会雑誌 第111巻 第7号　(2022.7)
腎臓内科			
68. 非侵襲性連続推定心拍出量(esCCO)のシャント肢と非シャント肢による比較	診療部長	中嶋 貴 他5名(※2名)	第67回 日本透析学会学術集会・総会　(2022.6)
69. バルプロ酸中毒に血液透析を施行した2例	専攻医	稲垣 高広 他6名	第67回 日本透析学会学術集会・総会　(2022.6)
70. 透析導入後に急変した特発性細菌性腹膜炎の一例	医　長	常世田 智明 他4名(※1名)	第67回 日本透析学会学術集会・総会　(2022.6)
71. Proton pump inhibitor (PPI) 内服により低マグネシウム、低カルシウム、低カリウム血症を呈したCKDの一例	診療部長	中嶋 貴 他5名	第52回 日本腎臓学会西部学術大会　(2022.11)
72. 白色便で発症し膜性腎症とIgG4関連腎臓病を診断した1例	専攻医	稲垣 高広 他4名	第52回 日本腎臓学会西部学術大会　(2022.11)
73. オルメサルタンによってAKIを伴った重症の水様性下痢を来たした1例	医　長	常世田 智明 他4名(※1名)	第52回 日本腎臓学会西部学術大会　(2022.11)
74. ステロイド治療が奏効した中年女性のTINU症候群の一例	医　員	青木 夕紀 他4名	第52回 日本腎臓学会西部学術大会　(2022.11)
75. カルニチン投与と握力について	診療部長	中嶋 貴	名南CKD合併症対策webセミナー　(2022.2)
糖尿病・内分泌内科			
76. インスリン グラルギン／リキシセナチド配合製剤(ソリクアR) 31例の検討	診療部長	髙橋 典男 他3名(※1名)	第65回 日本糖尿病学会 年次学術集会　(2022.5)
77. 未治療糖尿病を背景に発症し精巣摘除を必要としたフルニエ壊疽の1例	医　員	栗田 研人 他3名	第247回 日本内科学会 東海地方会　(2022.6)
78. バセドウ病の症状と治療法	診療部長	髙橋 典男	日本海事新聞　(2022.5)
呼吸器内科			
79. 両側陰影を認め、経気管支肺生検にて病理組織より肺放線菌症と考えられた1例	医　員	町井 春花 他8名	第121回 日本呼吸器学会東海地方学会　(2022.5)
80. ベンブロリズマブを含む抗がん剤治療で中毒性表皮壊死症(TEN)を発症した一例	医　長	田中 太郎 他7名	第121回 日本呼吸器学会東海地方学会　(2022.5)
81. COVID-19との鑑別を要したためPPE装着下でポータブル気管支鏡検査を施行し診断した急性好酸球性肺炎の2例	医　長	田中 太郎 他7名	第45回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会　(2022.5)
82. 両側胸水貯留とリンパ節腫大を呈したアミロイドーシスの一例	医　長	田中 太郎 他7名	第122回 日本呼吸器学会東海地方学会　(2022.11)
83. 健診で右上肺野腫瘤影を指摘されたのを契機に発見された肉腫型悪性胸膜中皮腫の1例	診療部長	浅野 俊明 他7名	第122回 日本呼吸器学会東海地方学会　(2022.11)

循環器内科

84. CTO with severe calcification	医	長 津 田 卓 眞	lifeline 症例検討会	(2022.1)
85. LADos-calcification	医	長 津 田 卓 眞	Dr. Okada's CTO conference	(2022.1)
86. What is DCA ??	医	長 津 田 卓 眞	Tokai-Hokuriku Web conference 2022	(2022.1)
87. ACS+石灰化病変どう治療するか	医	長 津 田 卓 眞	J CalC 2022	(2022.1)
88. 石灰化にバルーンで挑む	医	長 津 田 卓 眞	J CalC 2022	(2022.1)
89. OAS合併症と対策 ～slow flow / no reflow ～	医	長 津 田 卓 眞	J CalC 2022	(2022.1)
90. ～Failed RCA case ～	医	長 津 田 卓 眞	Dr. Okada's CTO conference	(2022.2)
91. The Major Difference Between Diamondback and Rotablator ～Aspect From Bench Test ～	医	長 津 田 卓 眞	TCTAP 2022	(2022.2)
92. ～Young Aged Case ～	医	長 津 田 卓 眞	Dr. Okada's CTO conference	(2022.2)
93. 冠動脈ステント ～変化の歴史～	医	長 津 田 卓 眞	興和株式会社 社内講演	(2022.3)
94. ACS二次予防における脂質低下療法 ～Interventionalistができること～	医	長 津 田 卓 眞	Interventionalist Meeting	(2022.3)
95. RCA-CTO症例	医	長 津 田 卓 眞	Dr. Kamiya's CTO Conference	(2022.3)
96. ― Oceanus 14 RXへの期待 ―	医	長 津 田 卓 眞	BK Treatment Seminar	(2022.3)
97. CTO wireの必要十分	医	長 津 田 卓 眞	津島市民病院 院内ライブ	(2022.5)
98. CTO症例	医	長 津 田 卓 眞	名古屋掖済会病院 院内ライブ	(2022.4)
99. ― CTO guidewire selection ―	医	長 津 田 卓 眞	桑名医療センター 院内講演会	(2022.4)
100. ― tough iliac CTO ―	医	長 津 田 卓 眞	TOENの会	(2022.4)
101. OCT、いつ使うか	医	長 津 田 卓 眞	豊田厚生病院 院内ライブ	(2022.5)
102. ～Very aged MDS patient ～	医	長 津 田 卓 眞	Dr. Okada's CTO conference	(2022.5)
103. coronary ARCADIAにより加療した一例	医	長 津 田 卓 眞	第48回 日本心血管インターベンション治療学会 東海北陸地方会	(2022.5)

104. OCT Findings of Three ACS cases with COVID-19	医	長 津 田 卓 眞	第48回 日本心血管インターベンション治療学会 東海北陸地方会 (2022.5)
105. ～Young aged LAD ～	医	長 津 田 卓 眞	Dr. Okada's CTO conference (2022.5)
106. ULTRASCORE ってどう??	医	長 津 田 卓 眞	EVT症例検討会 (2022.6)
107. My most tough CLTI case in these days	医	長 津 田 卓 眞	JET 2022 (2022.6)
108. A Case of RCA-CTO	医	長 津 田 卓 眞	CTO club 2022 (2022.6)
109. ベンチテストから考えるOASの心得	医	長 津 田 卓 眞	第12回 豊橋ライブ (2022.6)
110. LAD CTO症例	医	長 津 田 卓 眞	Dr. Okada's CTO conference (2022.6)
111. ～LCx-os lesion ～	医	長 津 田 卓 眞	PCI community (2022.7)
112. RCA-CTO	医	長 津 田 卓 眞	Dr. Okada's CTO conference (2022.7)
113. The Major Difference between OAS and Rotablator ～Aspect from bench test ～	医	長 津 田 卓 眞	第30回 日本心血管インターベンション治療学会 (CVIT2022) (2022.7)
114. The Impact of Slender DCA	医	長 津 田 卓 眞	第30回 日本心血管インターベンション治療学会 (CVIT2022) (2022.7)
115. What is a factor of physiological improvement of CTO ?	医	長 津 田 卓 眞	第30回 日本心血管インターベンション治療学会 (CVIT2022) (2022.7)
116. LAD-CTO	医	長 津 田 卓 眞	Dr. Okada's CTO conference (2022.7)
117. RCA-CTO of 4th attempt	医	長 津 田 卓 眞	第6回 東海北陸WEB症例検討会 (2022.8)
118. ACS case in HBR patient with TAVR	医	長 津 田 卓 眞	HBR summit in 東海 (2022.8)
119. LCx-PCI	医	長 津 田 卓 眞	Dr. Okada's CTO conference (2022.8)
120. contrast allergy	医	長 津 田 卓 眞	43th abbott forum (2022.8)
121. ACS case in HBR patient with TAVR	医	長 津 田 卓 眞	web ACS conference (2022.8)
122. HBRに適したstentとは	医	長 津 田 卓 眞	Primary PCI web conference 検討会 meets 中国四国＆東海 (2022.8)
123. ダイアモンドバックとローターブレーターについて	医	長 津 田 卓 眞	興和株式会社 社内講演 (2022.8)
124. Tough ACS case	医	長 津 田 卓 眞	Complex PCI conference (2022.9)

125. 2nd-attemptのRCA-CTO症例	医	長 津 田 卓 眞	Dr. Okada's CTO conference (2022.9)
126. より良いLesion preparationへのアプローチ	医	長 津 田 卓 眞	東海Web症例検討会 (2022.9)
127. tough ACS case	医	長 津 田 卓 眞	ACS conference with TOKAI & TOKYO (2022.9)
128. IVUSガイドワイヤリングの基本と限界 ～Jupiter S6の可能性～	医	長 津 田 卓 眞	第2回 フットケア学会・足病医学会 東海北陸地方学術集会 (2022.10)
129. 救命と再発予防のためにACS患者さんを地域で診る	医	長 津 田 卓 眞	三方原地区心疾患病診連携の会 ～地域で取り組む積極的脂質低下療法～ (2022.10)
130. OCTの使いドコロ	医	長 津 田 卓 眞	Abbott OCT workshop in Urazoe Sougou Hospital 2022 (2022.10)
131. Zero-iodinated contrast PCI for LAD-CTO in patient with severe anaphylaxis to iodinated contrast	医	長 津 田 卓 眞	CCT 2022 (2022.10)
132. New strategy for ACS ～Ultra BAR～ (BioFreedom ULTRA After Ryusei)	医	長 津 田 卓 眞	CCT 2022 (2022.10)
133. Tough Case of Iliac-CTO	医	長 津 田 卓 眞	CCT 2022 (2022.10)
134. Scoreflex Trioがもたらす Lesion Preparationの多様性	医	長 津 田 卓 眞	CCT 2022 (2022.10)
135. ACS患者救命のために循環器内科医としてできること ―脂質管理を含めたチーム医療―	医	長 津 田 卓 眞	Interventionalist Update Forum ～ACS治療の現状と課題～ (2022.11)
136. 起死回生のガイドワイヤーセレクション ～アンテグレード編～	医	長 津 田 卓 眞	ARIA 2022 (2022.11)
137. 石灰化のchallanging with J-CalC	医	長 津 田 卓 眞	ARIA 2022 (2022.11)
138. 複雑病変に挑む！Orsiro Missionの真の実力	医	長 津 田 卓 眞	ARIA 2022 (2022.11)
139. Complex lesionにおけるphysiology	医	長 津 田 卓 眞	ARIA 2022 (2022.11)
140. 当院におけるIn.Pact Admiralの臨床成績から考えるEVT strategy	医	長 津 田 卓 眞	CPAC 2022 (2022.11)
141. IVUS guided PPI	医	長 津 田 卓 眞	CPAC 2022 (2022.11)
142. RCA-CTO case	医	長 津 田 卓 眞	Dr. Oikawa conference (2022.12)
143. ACS患者救命のために循環器内科医としてできること 資質管理を含めたチーム医療 ―Road from Yokkaichi―	医	長 津 田 卓 眞	Interventionalist Update Forum ～ACS治療の現状と課題～ (2022.12)
144. Young ACS & LAD-CTO case	医	長 津 田 卓 眞	Dr Kamiya's ACS conference 2022 (2022.12)

145. ACS/CCS診断治療の名古屋掖済会病院における現状 ―地域連携を見据えた取り組み―	医	長津田卓眞	Amgen 社内講演 (2022.12)
146. Young ACS case	医	長津田卓眞	Complex PCI conference 2022 (2022.12)
147. BioFreedom ULTRA for ACS lesion	医	長津田卓眞	Ultra BAR Conference (2022.12)
148. Long-term Result of Cryoballoon Ablation with Extensive Encircling Balloon Isolation Technique in Persistent Atrial Fibrillation	医	員前田宗一郎	第86回 日本循環器学会学術集会・APSC2022-Asian Pacific Society of Cardiology Congress 2022 (2022.3)
149. NCCにて成功焼灼に至ったHis束近傍起源VPCの一例	医	員前田宗一郎	第58回 アブレーションカンファレンス (2022.4)
150. アブレーション治療後にEVTを施行した一例	医	員前田宗一郎	abbott社内研究会 (2022.11)
151. 経中隔アプローチでの "reversede S curved technique" で成功し得た再発性左室流出路起源PVCの一例	医	員前田宗一郎	カテーテルアブレーション関連秋季大会2022 (2022.11)
152. 複数の心房頻拍治療時に電気的左心耳隔離となり経皮的左心耳閉鎖術を施行した一例	医	員前田宗一郎	カテーテルアブレーション関連秋季大会2022 (2022.11)
153. 循環器内科の視点から脂質管理を再考する	診療部長	伊藤正則	KOWA Web Conference (2022.2)
154. SCD予防の観点からICDの適応を見直そう	診療部長	伊藤正則	Biotronik web (2022.4)
155. ACS×OCT Case Conference症例提示	診療部長	伊藤正則	第2回 ACS×OCT Case Conference (2022.8)
156. 循環器内科の視点から脂質管理を再考する	診療部長	伊藤正則	KOWA社内研修会 (2022.9)
157. It's Debul "Queen" Technique	医	員水野飛鳥	日本心血管インターベンション治療学会 第47回 東海北陸地方会 (2022.10)
158. 高度石灰化病変を伴うACSの一例	医	員水野飛鳥	第42回 PICASSO 若手医師によるディスカッション (2022.12)
159. Wire通過後のデバイス通過に難渋したCTOの一例	医	長小嶋弘毅	日本心血管インターベンション治療学会 第47回 東海北陸地方会 (2022.10)
160. Association between Rapid Dementia Screening Test score and clinical events in elderly patients with cardiovascular disease : a retrospective cohort study	主任技師	Takuji Adachi Yuki Tsunekawa 他2名	Eur J Cardiovasc Nurs. 2022 Nov 23；21 (8)：840-847. (2022.11)

161. Association between the Big Five personality traits and medication adherence in patients with cardiovascular disease：A cross-sectional study	主任技師	Takuji Adachi Yuki Tsunekawa 他1名	PLos One. 2022 Dec 1；17 (12)：e0278534. (2022.12)
162. Association among mild cognitive impairment, social frailty, and clinical events in elderly patients with cardiovascular disease	主任技師	Takuji Adachi Yuki Tsunekawa 他1名	Heart Lung. 2022 Sep-Oct；55：82-88. (2022.9-10)
163. Comparative study of fractional flow reserve and diastolic pressure ratio using a guidewire with a sensor for measuring intravascular pressure	医長	Kojima Hiroki 他9名	Medicine (Baltimore) 2022 101 (52)：e32578 (2022.12)
脳神経内科			
164. 頚胸椎症性脊髄症を合併し診断に難渋した傍腫瘍性神経症候群の一例	研修医	浅野太希 他2名	第163回 日本神経学会東海北陸地方会 (2022.7)
165. 小脳性運動失調を来した抗GAD抗体陽性自己免疫性脳症の一例	研修医	安井健友 他8名	第163回 日本神経学会東海北陸地方会 (2022.7)
166. 延髄の微小出血で高度な嚥下障害と歩行障害を来した症例	医員	林佳絵 他9名	第164回 日本神経学会東海北陸地方会 (2022.11)
167. 持続的髄液糖低下を呈した抗MOG抗体陽性脳脊髄炎の一例	専攻医	柴野莉香 他7名	第165回 日本神経学会東海北陸地方会 (2023.3)
168. COVID-19発症契機に不随意運動や見当識障害が出現した脳炎の一例	医員	竹村直晃 他9名	第165回 日本神経学会東海北陸地方会 (2023.3)
精神科			
169. Prevalence, clinical features, and risk factors of delusions in patients with delirium	診療部長	Tachibana,M Ichida,M (※3名)	International Journal of Geriatric Psychiatry：37 (6) (2022.5)
170. 発達障害に生じた解離性同一性障害の研究その1，大きなトラウマの既往無くDIDを生じる症例の検討	技師	若山和樹 (※2名)	第128回 日本小児精神神経学会 (2022.11)
171. 自虐的世話役として生きる女性との面接過程	技師	兒嶋しほり	日本精神分析学会 第68回大会 (2022.10)
消化器内科			
172. 粘膜下腫瘍様の形態を呈した胃底腺型腺癌の1例	医員	小島匡貴 他9名	第247回 日本内科学会東海地方会 (2022.6)
173. 腸重積を来した大腸アニサキス症の1例	専攻医	山口智大 他9名	第247回 日本内科学会東海地方会 (2022.6)
小児科			
174. 当院で乳児期に手術を要したIntramural coronary arteryの臨床像	医員	松本一希	第132回 東海小児循環器談話会 (2022.4)
175. 無菌性髄膜炎の疑いで入院となり、GFAPアストロサイトパチーと診断した一例	研修医	福田良子	第125回 日本小児科学会総会、学術集会 (2022.4)
176. 学校健診で身長の伸び停止、体重増加を指摘された13歳女子	診療部長	星野伸	第24回 愛知小児内分泌カンファレンス (2022.10)

177. 自殺企図で甲状腺機能亢進症が明らかとなった13歳女子	研修医	畑　七海	第55回 日本小児内分泌学会学術集会 (2022.11)
178. 左股関節痛で発症した化膿性筋炎の1例	診療部長	星野　伸	第54回 日本小児感染症学会総会、学術集会 (2022.11)
中央検査部、輸血部、病理診断科			
179. Carcinosarcoma of the Fallopian Tube with Malanocytic and Neuroendocrine Differentiation：A case report	診療部長	Natsumi Mori Tomoko Sato 他1名（※1名）	第111回 日本病理学会総会 (2022.4)
180. 浸潤性乳管癌のサブタイプ分類別超音波画像の比較検討	主任技師	竹内　裕紀子 他6名	第48回 乳腺甲状腺超音波医学会 (2022.4)
181. ホルター心電図で経過観察した多源性心房頻拍の新生児例	技師	近藤　真弓 他6名	第21回 愛知県医学検査学会 (2022.7)
182. 令和3年度 愛知県医師会精度管理調査報告 ～免疫血清検査部門～	主任技師	岡本　明紘	愛知県医師会精度管理研修会 (2022.2)
183. 日当直で困らない尿沈渣の基礎（円柱の見方）	主任技師	杉原　幸子	愛知県臨床検査技師会 一般検査研究班研究会 (2022.7)
184. 法的脳死判定における脳波測定	技師長	堀出　剛	法的脳死判定における脳波測定研修会 (2022.9)
185. 生体計測装置学超音波検査	技師長	堀出　剛	東海医療科学専門学校講義 (2022.9-10)
186. 心臓エコー症例（初級編）	主任技師	花井　甲太郎	第75回 東海エコーカンファレンス (2022.10)
187. 断層法での基本計測のポイント	主任技師	花井　甲太郎	令和4年度 愛知県臨床検査技師会 基礎講座 (2022.12)
救急科			
188. 痙攣：救急診療、時間軸で考えて動く！	医長	後藤　縁	レジデントノート増刊 Vol.24 No11 66-77 (2022.9)
189. 愛知県における医療体制緊急確保チームと統括官の役割	副院長	北川　喜己	Japanese Journal of Disaster Medicine Vol.27 Suppl 51-54 (2022.9)
190. ER型救急におけるハイブリッドERシステム導入の経緯とその意義	副院長	北川　喜己 他3名	Japanese Journal of Acute Care Surgery Vol.12 No.1 133-139 (2022.10)
191. Hybrid ER Systemが変える急性期脳梗塞治療	医員	小川　健一朗 他3名	第47回 日本脳卒中学会総会・学術集会 (2022.3)
192. 重症COVID-19患者におけるせん妄の実態とリスク	医長	後藤　縁	第49回 日本集中治療医学会総会・学術集会 (2022.3)
193. 愛知県における医療体制緊急確保チームと統括官の役割	副院長	北川　喜己	第27回 日本災害医学会総会・学術集会 (2022.3)
194. 災害医療コーディネーターから見た看護職の役割	副院長	北川　喜己	第27回 日本災害医学会総会・学術集会 (2022.3)
195. 丁寧な痛みの問診と身体診察から発熱のない肝膿瘍の早期診断に至った一例	医員	左近　真之 他6名	第25回 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (2022.5)

196. 救急外来および救急・内科系集中治療部に関連するインシデントの分析	医長	後藤 縁	日本集中治療医学会 第6回 東海北陸支部学術集会 (2022.6)
197. マイ“ハイブリッドER”の創り方教えます！	副院長	北川 喜己	第36回 日本外傷学会総会・学術集会 (2022.6)
198. Balloon Guiding Catheter (BGC) によるProximal balloon Protection (PBP) を実施して血栓回収を行ったSMA塞栓症の2例	医員	小川 健一朗 他5名	第14回 日本Acute Care Surgery学会総会・学術集会 (2022.9)
199. Current Situation and Challenges of Healthcare in Myanmar following the Military Coup from experience of an MSF doctor	医員	森岡 慎也	第37回 日本国際保健医療学会学術大会 (2022.11)
200. COVID-19流行下における「緊急立寄り」事例の検討	専攻医	林 清文 他8名	第25回 日本救急医学会中部地方会総会・学術集会 (2022.11)
201. 脳症後に重篤な肺炎経過をたどりVV-ECMOを使用して救命したCOVID-19肺炎の1例	医員	小川 健一朗 他7名	第50回 日本救急医学会総会・学術集会 (2022.11)
202. 心肺蘇生法の知識と実践：産科領域	副院長	北川 喜己 他1名	掖済会J-MELSコース (2022.1)
203. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長	北川 喜己	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSコース (2022.1)
204. 災害時の傷病者対応の原則について	副院長	北川 喜己 他1名	災害派遣医療チーム (DMAT) 技能維持研修会 (金沢市) (2022.1)
205. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長	北川 喜己	名古屋大学病院BLSコース (2022.1)
206. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長	北川 喜己	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSインストラクターコース (2022.2)
207. 多発外傷初期診療の知識と実践	副院長	北川 喜己 他13名	名古屋掖済会病院多発外傷初期診療講習会 (PTLSコース) (2022.2)
208. 災害時の看護師の役割と連携	副院長	北川 喜己	日本福祉大看護実践研究センターシンポジウム (2022.2)
209. 災害時の医療連携	副院長	北川 喜己	災害派遣医療チーム (AMAT) 研修会 (Web) (2022.2)
210. 災害時のトリアージについて	副院長	北川 喜己	東海市災害時委嘱員研修会 (2022.2)
211. 災害時の傷病者対応の原則について	副院長	北川 喜己 他2名	愛知県災害派遣医療チーム (DMAT) 隊員養成研修会 (2022.3)
212. 当院における脳死下臓器提供の実際	副院長	北川 喜己	帯広厚生病院臓器提供講演会 (Web) (2022.3)

213. 高齢者施設におけるコロナ対応	副院長 北川喜己	愛知医科大学介護施設研修会1 (2022.3)
214. 高齢者施設におけるコロナ対応	副院長 北川喜己	愛知医科大学介護施設研修会2 (2022.3)
215. 災害時の傷病者対応の原則について	副院長 北川喜己 他1名	災害派遣医療チーム(DMAT)技能維持研修会(名古屋市) (2022.3)
216. 当院における脳死下臓器提供の実際	副院長 北川喜己	札幌医大病院臓器提供講演会 (2022.3)
217. 心肺蘇生法の知識と実践	専攻医 林 清文	愛知医科大学T&Aコース (2022.4)
218. 災害時の傷病者対応の原則について	副院長 北川喜己	災害派遣医療チーム(DMAT)災害急性期対応研修会(2022.4)
219. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長 北川喜己 他13名	掖済会ICLSコース (2022.4)
220. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長 北川喜己 他8名	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSコース (2022.4)
221. 病院前外傷観察の知識と実践	副院長 北川喜己	あま外傷JPTECプロバイダーコース (2022.4)
222. 災害時の傷病者対応の原則について	副院長 北川喜己	富山県砺波消防本部講演会 (2022.5)
223. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長 北川喜己 他1名	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSコース (2022.5)
224. 病院前外傷観察の知識と実践	副院長 北川喜己	中村外傷JPTECプロバイダーコース (2022.5)
225. 当院救命救急センターに搬送された患者について	副院長 北川喜己 他1名	掖済会救急道場症例検討会 (2022.6)
226. 病院前外傷観察の知識と実践	副院長 北川喜己	豊橋市民病院外傷JPTECプロバイダーコース (2022.6)
227. 災害時のトリアージについて	副院長 北川喜己 他1名	愛知県医師会トリアージ研修会 (2022.6)
228. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長 北川喜己 他2名	掖済会ICLSコース (2022.6)
229. 災害時の病院避難について	副院長 北川喜己	災害派遣医療チーム(DMAT)統括DMAT講習会 (2022.6)
230. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長 北川喜己 他4名	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSコース (2022.6)
231. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長 北川喜己	名古屋大学ICLSコース (2022.6)
232. 災害時の傷病者対応の原則について	副院長 北川喜己 他1名	災害派遣医療チーム(DMAT)隊員養成研修会(神戸市) (2022.7)

233. 多発外傷初期診療の知識と実践	副院長	北川喜己 他14名	名古屋掖済会病院多発外傷初期診療講習会（PTLSコース）（2022.7）
234. 重症外傷死亡例の検討	医員	萩原康友	豊橋市民病院外傷M&Mカンファレンス（2022.7）
235. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長	北川喜己 他5名	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSコース(あま市民病院)（2022.7）
236. 多数傷病者対応の原則について	副院長	北川喜己	セントレアMCLSコース（2022.7）
237. 災害時の傷病者対応の原則について	副院長	北川喜己 他1名	災害派遣医療チーム（DMAT）隊員養成研修会（山口市）（2022.8）
238. 学校現場での救急対応について	副院長	北川喜己	学校保健事業講演会（2022.8）
239. 愛知県医療体制緊急確保チームについて	副院長	北川喜己	災害派遣医療チーム（DMAT）新興感染症クラスター対応研修会（2022.8）
240. 当院救命救急センターに搬送された患者について	副院長	北川喜己 他1名	掖済会CPA症例検討会（2022.8）
241. 心肺蘇生法の知識と実践	医員	萩原康友	災害派遣医療チーム（DMAT）技能維持研修会（名古屋市）（2022.8）
242. 災害時の傷病者対応の原則について	副院長	北川喜己 他1名	災害派遣医療チーム（DMAT）隊員養成研修会（札幌市）（2022.9）
243. 病院前外傷観察の知識と実践	副院長	北川喜己	海南病院JPTECプロバイダーコース（2022.9）
244. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長	北川喜己 他3名	名古屋掖済会トレーニングサイトACLSコース（2022.9）
245. 病院前外傷観察の知識と実践	副院長	北川喜己	名古屋掖済会JPTECプロバイダーコース（2022.9）
246. 災害時の傷病者対応の原則について	副院長	北川喜己	東海市潜在看護師研修会（2022.9）
247. 国境なき医師団で働くってどんな感じ？	医員	森岡慎也	愛知県立西尾高等学校講演会（2022.9）
248. 当院救命救急センターに搬送された患者について	副院長	北川喜己 他2名	掖済会救急道場症例検討会（2022.10）
249. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長	北川喜己	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSコース（2022.10）
250. 災害時の傷病者対応の原則について	副院長	北川喜己	豊川市潜在看護師研修会（2022.10）

251. 多数傷病者対応の原則について	副院長	北川喜己	名古屋掖済会MCLS大量殺傷型テロ対応病院コース (2022.10)
252. 愛知県の災害時の医療体制について	副院長	北川喜己	西三河防災訓練講演会 (2022.10)
253. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長	北川喜己 他2名	掖済会ICLSコース (2022.10)
254. 災害時の傷病者対応の原則について	副院長	北川喜己 他1名	災害派遣医療チーム(DMAT)隊員養成研修会(金沢市) (2022.10)
255. 災害時の傷病者対応の原則について	副院長	北川喜己	金沢市潜在看護師研修会 (2022.10)
256. 愛知県医療体制緊急確保チームについて	副院長	北川喜己	ばんたね病院オンライン講演会 (2022.10)
257. 災害時の傷病者対応の原則について	副院長	北川喜己	中部ライフガードTEC2022 (2022.10)
258. コロナ禍で果たした名古屋大学医学部付属病院の役割と連携	医長	後藤縁	愛知県病院協会救急医療講演会 (2022.11)
259. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長	北川喜己	名古屋大学病院BLSコース (2022.11)
260. 災害時の傷病者対応の原則について	副院長	北川喜己 他1名	災害派遣医療チーム(DMAT)技能維持研修会(名古屋市) (2022.11)
261. 多発外傷初期診療の知識と実践	副院長	北川喜己 他1名	愛知県医師会PTLS研修会 (2022.11)
262. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長	北川喜己 他2名	こどもメディカルラリー(セントレア) (2022.11)
263. 災害死亡者の家族対応について	副院長	北川喜己 他1名	災害死亡者家族支援チーム(DMORT)養成研修会(掖済会) (2022.11)
264. 災害時の傷病者対応の原則について	副院長	北川喜己 他1名	災害派遣医療チーム(DMAT)隊員養成研修会(名古屋市) (2022.11)
265. 災害時の傷病者対応の原則について	副院長	北川喜己	南砺市潜在看護師研修会 (2022.11)
266. 多数傷病者対応の原則について	副院長	北川喜己	愛知県外傷講習Bコース(MCLS) (2022.11)
267. IVR症例検討	医員	小川健一朗	カネカメディックスIVR検討会 (2022.11)
268. 当院救命救急センターに搬送された患者について	副院長	北川喜己 他2名	掖済会CPA症例検討会 (2022.12)
269. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長	北川喜己	名古屋大学病院ICLSコース (2022.12)

270. 病院前外傷観察の知識と実践	副院長	北川喜己	愛知県救命士再教育実技講習 (2022.12)
271. 災害医療について県民に知っておいてほしいこと	副院長	北川喜己	愛知県医師会健康教育講座 (2022.12)
272. 多発外傷初期診療の知識と実践	副院長	北川喜己 他1名	JATEC名古屋（日赤愛知第二病院） (2022.12)
273. 心肺蘇生法の知識と実践	副院長	北川喜己	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSコース（県医療療育総合センター中央病院） (2022.12)
274. ご家族へ情報提供の実際について	医員	萩原康友	愛知県施設内移植担当者会議 (2022.12)
緩和ケア内科			
275. 緩和ケア研修会：コミュニケーション	診療部長	小島美保	名古屋大学医学部附属病院緩和ケア研修会 (2022.11)
外科			
276. 腹壁瘢痕ヘルニアに対してEndoscopic Mini- or Less-open Sublay Operation (EMILOS) を施行した1例	診療部長	水谷文俊	日本腹部救急医学会雑誌 (2022)
277. 腸閉塞を契機に診断された異所性膵癌と原発性卵巣癌の重複癌の1例	医員	市野平之伸 他5名	日本臨床外科学会 (2022)
278. 亜全胃温存膵頭十二指腸切除後に発生した可逆性後頭葉脳症症候群の1例	医員	市野平之伸 他5名	日本臨床外科学会 (2022)
279. 右外鼠径ヘルニアに対してロボット支援下鼠径ヘルニア修復術を施行した1例	診療部長	水谷文俊 他12名	愛知臨床外科学会 (2022.2)
280. 腹腔鏡下と前方アプローチにて完全切除した腹腔内交通型Nuck管水腫の1例	専攻医	水谷真也 他12名	愛知内視鏡外科研究会 (2022.2)
281. 術後壊死性筋膜炎部の腹壁ヘルニアに対して大腿筋膜で修復した一例	専攻医	寺本圭佑 他7名	日本腹部救急医学会総会 (2022.3)
282. 当科における腹壁ヘルニアに対するEMILOS法	診療部長	水谷文俊 他12名	日本外科学会定期学術集会 (2022.4)
283. 大腿ヘルニア嵌頓壊死に対してTEPと小開腹術を併用し、一期的に治療した1例	専攻医	寺本圭佑 他15名	日本ヘルニア学会学術集会 (2022.6)
284. 当科におけるロボット支援下鼠径ヘルニア修復術の導入について	診療部長	水谷文俊 他14名	日本ヘルニア学会学術集会 (2022.6)
285. 閉鎖孔ヘルニアに対してはTEPが有効である	診療部長	水谷文俊 他14名	日本ヘルニア学会学術集会 (2022.6)
286. 鋭的心膜横隔膜損傷の1次的止血に3WAY尿道バルンカテーテルが有効であった1例	診療部長	水谷文俊 他14名	日本外傷学会総会・学術集会 (2022.6)
287. 鈍的外傷性横隔膜損傷の1例	診療部長	水谷文俊 他14名	日本外傷学会総会・学術集会 (2022.6)

288. 緊急手術を施行した盲腸軸捻転症の1例	専攻医	後藤 亮太郎 他16名	愛知臨床外科学会 (2022.7)
289. 腸管内に迷入した感染性腰椎－腹腔(LP)シャントチューブを抜去した1例	専攻医	鳥居 剛 他16名	愛知臨床外科学会 (2022.7)
290. 当院におけるロボット支援下直腸癌手術の短期成績	医員	市野 平之伸 他14名	日本消化管学会総会学術集会 (2022.7)
291. CTRX+MNZを投与する虫垂炎保存パスの作成はカルバペネム使用率低下と構成愛投与期間短縮に寄与する	診療部長	山口 直哉 他14名	日本消化器関連学会週間 (2022.10)
292. 市中病院におけるロボット支援下胃切除術の導入	医長	寺境 宏介 他14名	日本消化器関連学会週間 (2022.10)
293. 当院における直腸癌に対するロボット支援下手術と腹腔鏡手術の比較検討	医員	市野 平之伸 他15名	日本消化器関連学会週間 (2022.10)
294. 当科におけるロボット支援下鼠径ヘルニア修復術の現状と今後について	診療部長	水谷 文俊 他14名	日本臨床外科学会総会 (2022.11)
295. 横行結腸未分化多形肉腫の1例	医員	茂野 佐弓 他12名	日本臨床外科学会総会 (2022.11)
296. Initial short-term results of robotic inguinal hernia repair in our hospital	診療部長	Mizutani F 他4名	Asian-Pacific Congress of Robotic laparoscopic Surgery 2022 (2022.12)
297. 当科におけるロボット支援下鼠径ヘルニア修復術について	診療部長	水谷 文俊	ロボット支援下鼠経ヘルニア修復術東海エリア勉強会(2022.6)

整形外科

298. Vascularised versus non-vascularised bone graft for scaphoid nonunion：Meta-analysis of randomised controlled trials and comparative studies	診療部長	Yuki Fujihara 他4名	JPRAS Open In Press Accepted Manuscript Published online (2022)
299.【四肢骨折プレート固定術の創意工夫】前腕骨幹部骨折に対するplatingと後療法の工夫	診療部長	太田 英之 他5名	Orthopaedics (0914-8124) 35巻10号 Page77-84 (2022.10)
300. Prognostic factors for postoperative complications after K-wire fixation for paediatric forearm fractures：a multivariate analysis.	診療部長	Fujihara Y 他2名	Journal of Pediatric Orthopaedics B 31 (1)：p50-54, January 2022. (2022.1)
301. Are the Clinical Results of Locking Plate Fixation for Distal Radius Fractures Inferior in Patients over 80 Years of Age？ A Multicentre (TRON Group) Study.	診療部長	Sakurai S Ota H 他6名	Indian J Orthop. 2022 Dec 6；57 (1)：117-123. (2022.12)
302. 上腕骨遠位端骨折に伴う末梢神経障害のリスク因子	救命士	加納 寛之	第138回 中部整形外科災害外科学会・学術集会 (2022.4)
303. 骨幹端に骨折が及ぶ橈骨遠位端骨折の合併症発生率と術後成績 Matched case-control Study	診療部長	藤原 祐樹 他3名	第65回 日本手外科学会学術集会 (2022.4)

304.	手根管内腱滑膜炎の原因疾患の検討	医長 丹羽智史 他3名	第65回 日本手外科学会学術集会 (2022.4)
305.	再接着後の萎縮の要因の究明と検討	医員 酒井愛 他3名	第65回 日本手外科学会学術集会 (2022.4)
306.	小児前腕骨骨折に対する手術的治療の術後合併症と対策について	診療部長 藤原祐樹 他2名	第48回 日本骨折治療学会 (2022.6)
307.	陳旧性第5CM関節脱臼に対しSuture-buttonを用いて治療を行った1例	医長 丹羽智史 他5名	第48回 日本骨折治療学会 (2022.6)
308.	大腿骨転子部骨折の後外側骨片が術後の臨床的所見に与える影響についての検討	専攻医 加藤三保子 他4名	第48回 日本骨折治療学会 (2022.6)
309.	手指基節骨骨折に対する鋼線刺入部位による関節可動域への影響	専攻医 鈴木誠人 他3名	第48回 日本骨折治療学会 (2022.6)
310.	二次骨折予防のためのリエゾンサービスの取り組みと今後の課題	診療部長 太田英之 他1名	第24回 骨粗鬆症学会 (2022.9)
311.	髄内釘を回旋させ固定した脛腓骨遠位端関節内骨折の1例	医員 日高慧貴	第139回 中部日本整形外科災害外科学会・学術集会 (2022.10)
312.	骨頭骨折を伴う股関節脱臼の整復操作にて大腿骨頚部骨折を合併した1例	診療部長 森公一	第139回 中部日本整形外科災害外科学会・学術集会 (2022.10)
313.	多職種連携による骨粗鬆症の治療とリエゾンサービス	診療部長 太田英之	第63回 全日本病院学会ランチョンセミナー (2022.10)
314.	手根管周囲にCLAPを行った1例	診療部長 太田英之	第5回 CLAP研究会 (2022.11)
315.	指尖切断における指尖・指腹の再建を近年の傾向から考える	診療部長 太田英之 他3名	第49回 日本マイクロサージャリー学会 (2022.12)
316.	手外科領域から始める骨粗鬆症治療	診療部長 太田英之	名古屋市南西部臨床懇話会 (2022.3)
317.	骨粗鬆症リエゾンサービスについて脆弱性骨折　二次骨折予防に対する骨粗鬆症治療の取り組み	診療部長 太田英之	第404回 名古屋市中川区医師会臨床懇話会 (2022.3)
318.	骨粗鬆性骨折・二次骨折予防に対する骨粗鬆症治療の取り組み	診療部長 森公一	膠原病・骨粗鬆症治療 地域連携講演会 (2022.8)
319.	外傷例、再建症例に対するSorbactの使用経験	診療部長 太田英之	CMI wound management webinar Vol.9 急性期創傷マネージメント (2022.8)
320.	橈骨遠位端骨折の治療　～治療戦略と手術手技のTips～	診療部長 太田英之	StraWS 2022 (2022.8)
321.	骨粗鬆症性骨折、二次骨折予防に対する骨粗鬆症治療の取り組み	診療部長 太田英之 他1名	Nagoya Fracture Prevention Seminar (NEXT seminar) (2022.9)
322.	多職種による包括的なフレイル・骨折・骨粗鬆症予防	診療部長 太田英之 他1名	第2回 中川区地域医療連携協議会 (2022.9)

323. 脆弱性骨折予防のための多職種連携リエゾンサービスの未来を考える	診療部長 太田英之	歯科医師会病診連携システム講演会 (2022.10)
324. 重度上肢・手外傷に対する治療 ―orthopaedic microsurgeonとしての取り組み	診療部長 太田英之	第21回 三重県上肢外科研修会 (2022.11)
325. 人工骨頭置換術・その先へ ～CPPアプローチ～	診療部長 森 公一	名古屋BHAエリアセミナー (2022.12)

形成外科

326. 中等度熱傷に超音波デブリードマン装置を用いて出血を抑え良好な成績を得た1例	医員 足立真実	第48回 日本熱傷学会総会・学術集会 (2022.7)

脳神経外科

327. 当院におけるVertebral body stentingの初期使用経験	医長 福岡俊樹 他5名	第37回 日本脊髄外科学会 (2022.6)
328. 脊椎手術を契機に診断に至った多発性骨髄腫の2例	医長 福岡俊樹 他5名	第37回 日本脊髄外科学会 (2022.6)
329. 後方アプローチによるligamentotaxisを用いた急性期椎体整復術	医長 福岡俊樹 他5名	第81回 日本脳神経外科学会総会 (2022.9)
330. 超高齢社会における軸椎歯突起骨折の特徴と治療工夫	医長 福岡俊樹 他1名	第57回 日本脊髄障害医学会 (2022.11)
331. Vertebral body stenting 使用開始後1年で経験した有害事象とピットフォール	医長 福岡俊樹 他1名	第57回 日本脊髄障害医学会 (2022.11)
332. 脊椎外科医が介入すべき不安定型骨盤輪骨折手術	医長 福岡俊樹 他1名	第57回 日本脊髄障害医学会 (2022.11)
333. 水頭症症状を呈し、神経内視鏡手術にて寛解したMyxoid glioneuronal tumorの1例	専攻医 脇坂憧子 他6名	第101回 日本脳神経外科学会中部支部学術集会 (2022.4)
334. Hybrid-ERにおける新たな脳梗塞診断・治療のワークフロー ～angio CT + CT Perfusion ～	診療部長 鈴木 宰	第38回 NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術集会 (2022.11)
335. パーキンソン病患者におけるK状腰椎移行部破裂骨折に対する前後合併手術	医長 粟屋尭之 他3名	第37回 日本脊髄外科学会 (2022.6)
336. 脱臼のない頚髄損傷に対する前方固定術の低侵襲化	医長 粟屋尭之 他3名	第37回 日本脊髄外科学会 (2022.6)
337. 腰部脊柱管狭窄症に対する改良顕微鏡下低侵襲除圧術の治療成績	医長 粟屋尭之 他5名	日本脳神経外科学会 第81回 学術総会 (2022.9-10)
338. 術前に粘液乳頭状上衣腫との鑑別が困難であった神経鞘腫症の一例	医長 粟屋尭之 他1名	第57回 日本脊髄障害医学会 (2022.11)
339. 椎骨動脈閉塞を伴う頚椎脱臼骨折に対して椎骨動脈の直達閉塞が有効であった一例	医長 粟屋尭之 他1名	第57回 日本脊髄障害医学会 (2022.11)
340. 成人急性リンパ性白血病による神経所見を伴う腰椎破裂骨折に対し脊椎後方除圧固定術を行なった一例	専攻医 太田佑資 他5名	第101回 日本脳神経外科学会中部支部学術集会 (2022.4)

341. 大脳鎌髄膜腫摘出術中のACA損傷に対し端端吻合による血行再建を行なった1例	専攻医	太田佑資 他5名	第102回 日本脳神経外科学会中部支部学術集会 (2022.9)
産婦人科			
342. 脳転移後10年経過し生存している卵巣高異型度漿液性癌の1例	医長	鬼頭舞帆 清水顕 他10名	東海産科婦人科学会雑誌58巻 (2022.3)
343. 大動脈閉塞バルーンカテーテル(IABO)を使用したICSI後癒着胎盤の1例	専攻医	浅野智美 他10名	東海産科婦人科学会雑誌58巻 (2022.3)
344. まだ間に合う！中堅からの内視鏡手術デビュー	医長	清水顕	第22回 東海産科婦人科内視鏡手術研究会 イブニングセミナー (2022.10)
345. 当院のLNG-IUSの使用症例の検討	専攻医	秋田寛文 他8名	第142回 東海産科婦人科学会 (2022.3)
346. 診断に難渋した悪性腹膜中皮腫の一例	専攻医	競悦子 他10名	第142回 東海産科婦人科学会 (2022.3)
347. 右卵巣のエストロゲン産生を伴うMesonephric-like adenocarcinomaと濾胞性リンパ腫、甲状腺乳頭癌を併発した一例	専攻医	杉原穂乃花 他7名	第142回 東海産科婦人科学会 (2022.3)
348. 子宮筋腫に対する子宮動脈塞栓術の周術期疼痛コントロールに難渋した1例	専攻医	浅野智美 他12名	第116回 愛知産科婦人科学会 (2022.10)
耳鼻咽喉科			
349. 頭頸部癌患者の入院時栄養評価は予後予測に有用である。―GLIMの有用性―	医員	久徳綾香	第123回 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会 (2022.5)
350. 鼻アレルギーにおけるケミカルメディエーターの役割	診療部長	三好正人	第31回 南名古屋耳鼻咽喉科懇話会 (2023.1)
薬剤部			
351. 医療過誤に及ぼす要因に関する研究：抗がん剤無菌調製	副薬剤部長	神田里奈 牛腸沙織 (※7名)	日本薬学会 第142年会 (2022.3)
352. 感情認識AIを用いたコミュニケーション分析法の検討3	副薬剤部長	宮城雪菜 牛腸沙織 (※4名)	日本薬学会 第142年会 (2022.3)
353. コミュニケーション評価法に関する研究1：各感情における脳波・心電図に与える影響について	副薬剤部長	鈴木らな 牛腸沙織 (※5名)	日本薬学会 第142年会 (2022.3)
354. 服薬指導時における指摘な患者-薬剤師間の距離に関する研究 ―臨床現場での調査から―	副薬剤部長	牛腸沙織 (※4名)	第31回 日本医療薬学会年会 (2022.9)
355. 病院から保険薬局への情報提供書について ～患者サマリの見方～	薬剤員	加藤幾	第17回 名古屋南部がん診療研究会 (2022.4)
356. 当院における退院時薬剤情報連携加算への取り組みと課題	副薬剤部長	早瀬友和	西名古屋薬剤師セミナー (2022.3)

357. 睡眠薬の使用、当院の現状	薬剤部長 稲垣正巳	不眠症診療ウェブセミナー in 名古屋南部 (2022.8)
358. 災害時医療と薬剤師	副薬剤部長 早瀬友和	中川薬剤師会 勉強会 (2022.10)

中央放射線部

359. DigitalZoom機能を用いた被ばく低減効果に関する基礎的検討 ―線量評価編―	主任技師 小栗健太 他4名	第47回 CVIT東海北陸地方会 (2022.10)
360. DigitalZoom機能を用いた被ばく低減効果に関する基礎的検討 ―画質評価編―	主任技師 小栗健太 他4名	第47回 CVIT東海北陸地方会 (2022.10)
361. Hybrid ER SystemにおけるV-A ECNO導入時間への影響について	主任技師 小栗健太 他2名	第25回 日本救急医学会中部地方会 学術集会 (2022.11)
362.「医療人としてのマナー・エチケット」	技師長補佐 川口範洋	(公社) 愛知県診療放射線技師会 フレッシャーズセミナー (2022.6)
363. プレイバック2019～2021年度	技師 服部裕哉	(公社) 愛知県診療放射線技師会 第2回 名古屋地区研修会プレイバック2019～2021年度 (2022.6)
364. 臨床実習の心構えについて	技師長補佐 川口範洋	東海医療技術専門学校 (2022.5)
365. 生体計測装置学　放射線機器工学	主任技師 竹安亮	東海医療科学専門学校 (2022.10)
366. マンモグラフィ講習会	主任技師 原ゆかり	名古屋掖済会病院 (2022.1)
367. マンモグラフィ講習会	主任技師 原ゆかり	名古屋医療センター (2022.6)
368. マンモグラフィ講習会	主任技師 原ゆかり	名古屋医療センター (2022.7)
369. マンモグラフィ講習会	主任技師 原ゆかり	名古屋医療センター (2022.8)
370. 令和3年厚生労働省告示第273号研修	主任技師 花井敦司	ファシリテータ講習会 藤田医科大学病院 (2022.6)
371. 令和3年厚生労働省告示第273号研修	主任技師 花井敦司	ファシリテータ講習会 藤田医科大学病院 (2022.7)
372. 令和3年厚生労働省告示第273号研修	主任技師 花井敦司	ファシリテータ講習会 安城更生病院 (2022.8)
373. 令和3年厚生労働省告示第273号研修	主任技師 花井敦司	ファシリテータ講習会 東三河看護専門学校 (2022.11)
374. 令和3年厚生労働省告示第273号研修	主任技師 花井敦司	ファシリテータ講習会 海南病院 (2022.12)
375. 業務拡大に伴う統一講習会	副技師長 成瀬隆行	JA愛知厚生連安城厚生病院 (2022.7)

リハビリ部

376. 手指屈筋腱損傷	斎藤和夫 主任技師 稲垣慶之 (※2名)	動画で学ぼう PT・OTのためのハンドセラピィ (2022.3)

377. 腹臥位療法の生理学	山田真史 主任技師 肥後真介	みんなの呼吸器レスピカ Vol.26	(2022.4)
378. 肋骨骨折観血的手術を行ったフレイルチェスト症例における呼吸理学療法の経験	主任技師 肥後真介 他4名	日本救急医学会雑誌 Vol.33：509-515	(2022.9)
379. 高齢者心不全患者における入院中の介護保険サービスと退院後のイベント発生との関連	主任技師 恒川裕気 他2名（※1名）	心臓2022；54（3）：367-376	(2022.3)
380. 当院における手指再接合の治療戦略	主任技師 稲垣慶之 他4名	第49回 日本マイクロサージャリー学会学術集会	(2022.12)
381. 人工呼吸器グラフィックモニターから呼吸筋力低下を推察し呼吸理学療法を実施した大動脈解離に多発脳梗塞を合併した1症例	技師 寺澤莉奈 他4名	第38回 東海北陸理学療法学術大会	(2022.10)
382. Claude症候群を呈した急性期脳卒中患者の経過と理学療法経験	主任技師 齋藤弘明 他3名	第20回 日本神経理学療法学会学術大会	(2022.10)
383. 塞栓術と摘出術を施行した小脳動静脈奇形症例に対し、医師と連携し術前から積極的に理学療法介入した経験	技師 中尾弥歩 他3名	第20回 日本神経理学療法学会	(2022.10)
384. 高齢心不全患者における入院後早期の起立能力と退院時の身体能力との関連	主任技師 恒川裕気 他5名	日本心臓リハビリテーション学会	(2022.6)
385. PIP関節脱臼骨折のハンドセラピィ	主任技師 稲垣慶之 他2名	第9回 中部日本ハンドセラピィ研究会	(2022.1)

臨床工学部

386. アブレーション中のスチームポップ減少により左室穿を生じた左室心尖部起源の心室期外収縮の一例	主任技師 安田奈央	第2回 日本不整脈心電学会東海北陸支部地方会	(2022.3)
387. 非侵襲的連続心拍出量と熱希釈式連続心拍出量の互換性に関する検討	主任技師 安田奈央	第49回 日本集中治療医学会学術集会	(2022.3)
388. 透析治療の血行動態管理における非侵襲的連続推定心拍出量（esCCO）モニタリングへの新たなるアプローチ	中井浩司 技師長 土井厚 他2名（※3名）	第49回 日本集中治療医学会学術集会	(2022.3)
389. Evaluation of Usefulness About Hybrid Emergency Room for Extracorporeal Cardiopilmonary Resuscitation in Out-of Hospital Cardiac Arrest	主任技師 Nao Yasuda	Transcatheter Cardiovascular Therapeutics Asian Pacific (TCTAP) 2022	(2022.4)
390. The Impact of Slender DCA	主任技師 Nao Yasuda 他1名	Transcatheter Cardiovascular Therapeutics Asian Pacific (TCTAP) 2022	(2022.4)
391. 高濃度酸素下Tでの呼吸管理を継続した患者搬送と酸素ボンベのリスクに関する実験的検討	主任技師 安田奈央 他9名	第32回 日本臨床工学会	(2022.5)
392. AVALONダブルルーメンカテーテルは有効か!? ～VV-ECMO with AVALON	技師 市川りさ	第32回 日本臨床工学会	(2022.5)

393. コロナ禍における医療機関での早期体験学習の代替策についての検討	中井浩司 主任技師 安田奈央 （※5名）	第32回 日本臨床工学会 (2022.5)
394. 緊急Bentall術後にHITを発症し、大量血栓によりV-A ECMOの頻回な回路交換を要した一例	主任技師 安田奈央 他6名	日本心血管インターベンション治療学会 第46回 東海北陸地方会 (2022.5)
395. EVTにおける炭酸ガス使用と造影剤の比較検討	技師 三浦菜那	日本心血管インターベンション治療学会 第46回 東海北陸地方会 (2022.5)
396. アノテーションの違いにより頻拍回路が明瞭に描出された非通常型心房粗動の一例	主任技師 安田奈央 他5名	第68回 日本不整脈心電学会学術大会 (2022.6)
397. 透析療法時における非侵襲的連続推定心拍出量モニタリングの有用性	技師 長土井厚	第67回 日本透析医学会学術集会 (2022.7)
398. どっちで測る?? IVUS vs. OCT（Award ME session）	主任技師 安田奈央	第30回 日本心血管インターベンション治療学会 (2022.7)
399. 当院におけるDCAとDCBを用いたStentless PCIの治療成績	主任技師 安田奈央 他7名	PCI Optimization by Physiology and Imaging 2022 (2022.9)
400. EVTにおけるポケットLDFの使用経験	技師 須田優輝	日本心血管インターベンション治療学会 第47回 東海北陸地方会 (2022.10)
401. 各社pressure wireにおける圧ドリフトについての検討（Award session）	主任技師 安田奈央 他6名	日本心血管インターベンション治療学会 第47回 東海北陸地方会 (2022.10)
402. 当院におけるDCAとDCBを用いたStentless PCIの治療成績（ME Award session、最優秀賞）	主任技師 安田奈央 他13名	Complex Cardiovascular Therapeutics 2023 (2022.10)
403. ECPRにおける神経学的予後関連因子の検討	主任技師 安田奈央 他8名	第47回 日本体外循環技術医学会大会 (2022.11)
404. Sinus Venosaが非通常型心房粗動に関与したと考えられた3症例	主任技師 安田奈央 他6名	カテーテルアブレーション関連秋季大会2022 (2022.11)
405. 発作性上室頻拍　PSVT	主任技師 安田奈央	愛知件臨床工学技士会 循環器セミナーABL (2022.2)
406. ECMOから私が学んだこと	主任技師 安田奈央	愛知県臨床工学技士会 第17回学術大会 ランチョンセミナー講演 (2022.6)
407. 合併症 ～症例から学ぶPNPM～ Part2 High Risk　左右下部共通幹肺静脈に対する肺静脈隔離　左室心尖部起源心室期外収縮	主任技師 安田奈央	日本EPアブレーション技術研究会 中部地方会 EP Webカンファ Vol.20 (2022.6)
408. のぞいてみよう、それぞれの施設でのアブレーション ～これから始めるスタッフへ～ 発作性上室頻拍 PSVT	主任技師 安田奈央	第68回 日本不整脈心電学会学術大会 (2022.6)
409. R4 DMAT隊員養成研修 西第3回 タスク派遣	技師 瀧北佳子	R4 DMAT隊員養成研修 西第3回 (2022.7)

410. どっちで削る⁇ IVUS vs. OCT	主任技師	安田奈央	日本心血管インターベンション治療学会 第47回 東海北陸地方会 コメディカルシンポジウム (2022.10)
411. 失敗は成功へのプロセス「本当にあったPOPの話し」	主任技師	安田奈央	カネカメディックス Webiner (2022.11)
412. どっちで削る⁇ IVUS vs. OCT	主任技師	安田奈央	伊勢志摩ライブ (2022.11)

栄養科

413. 名古屋掖済会病院の給食提供における新型コロナウイルス感染症対策及び医療と福祉の連携の大切について	栄養士長	市江美津昭	中川区・南区・港区合同給食施設指導講習会 (2022.8)

看護部

414. 看護基礎教育における看護技術教育の現状に関する文献検討	主任看護師	川島良子 馬場美幸 (※3名)	北関東医学 (2022.2)
415. 手指切断に対する再接着術後の患者が抱く苦痛	看護師	水谷翔 他4名	第24回 日本医療マネジメント学会学術総会 (2022.7)
416. リモートシステムを導入した退院前後訪問の一事例訪問	看護師長	山内ゆり 他1名	第24回 日本医療マネジメント学会 (2022.7)
417.「災害時に焦点を置いた退院前指導と退院後継続指導による両親の意識、行動変化に関する一考察」	主任看護師	甲斐美政 他3名	第32回 日本小児看護学会 (2022.7)
418. 看護大学生の4年間の臨地実習にのぞむ動機づけと学生の特性との関連	主任看護師	馬場美幸 (※2名)	第32回 日本看護学教育学会学術集会 (2022.8)
419. 入退院支援における患者課題の共有認識ツールの効果の検証 ～心不全退院支援ナビの有効性に焦点を当てて～	看護師	横田麻香 他4名	第38回 愛知県看護学会 (2022.12)
420. 特養でできる皮膚ケアについて	主任看護師	櫻井美智	令和3年度 県委託 在宅・介護領域職員研修事業 研修会 (2022.1)
421. 基本的なスキンケアと褥瘡の予防 ～つくらない！見逃さない！悪化させない！	主任看護師	櫻井美智	愛知県看護協会 令和4年度 研修会 (2022.9)
422. 小児のフィジカルアセスメント ～子どもの状態を的確に把握するためのポイント～	看護師長	小山田恵 他1名	愛知県看護協会主催 研修会 (2022.11)
423. もう困らない　創傷アセスメント	主任看護師	櫻井美智	東海創傷セミナー (2022.12)

医療相談室

424. 新任者オリエンテーション接遇研修＆新任者養成プレ研修「はじめての医療費相談」	主任	内山真子	一般社団法人 愛知県医療ソーシャルワーカー協会（ベーシック研修） (2022.6)
425. 新任者養成研修①「医療制度改革によるMSWの業務」	室長	林本隆幸	一般社団法人 愛知県医療ソーシャルワーカー協会（ベーシック研修） (2022.10)
426. がん患者等への支援	主任	内山真子	緩和ケア研修会 (2022.11)

427. 新任者養成研修④「介護保険制度」	主任	中北香奈	一般社団法人 愛知県医療ソーシャルワーカー協会（ベーシック研修） (2022.11)
428. 医療機関から地域につなぐ難病患者支援	主任	中北香奈	中川区難病患者地域支援ネットワーク会議 (2022.12)
429. 新任者養成研修⑦「医療機関機能別専門知識　緩和ケア」	主任	内山真子	一般社団法人 愛知県医療ソーシャルワーカー協会（ベーシック研修） (2023.1)
情報管理センター			
430. 当院におけるＥラーニングシステム "Ekisai Moodle"導入と運用報告	センター長補佐	樋口達也	令和4年度 MIRF公開討論会 (2022.11)
シミュレーションセンター			
431. 日本ど真ん中祭りにおける熱中症対策と感染症対策の両立	課長補佐	丹羽一晃 他1名	第25回 臨床救急医学会総会・学術集会 (2022.5)
432. 病院前における内因性疾患の観察と判断	課長補佐	丹羽一晃	名古屋掖済会病院PEMECコース (2022.3)
433. 災害時の医療活動について	課長補佐	丹羽一晃	愛知県DMAT隊員養成研修 (2022.3)
434. 災害時の傷病者対応の原則について	課長補佐	丹羽一晃	安城更生病院MCLSコース (2022.5)
435. 災害時のトリアージについて	課長補佐	丹羽一晃	豊川市歯科医師会災害研修 (2022.5)
436. 病院前における外傷の観察と処置	課長補佐	丹羽一晃	豊橋市民病院JPTECコース (2022.6)
437. 病院前における外傷の観察と処置	課長補佐	丹羽一晃	名古屋掖済会病院JPTECコース (2022.9)
438. 病院前における内因性疾患の観察と判断	課長補佐	丹羽一晃	名古屋市立大学PEMECコース (2022.9)
439. 特殊災害における病院対応	課長補佐	丹羽一晃	MCLS大量殺傷テロ病院コース（名古屋掖済会病院） (2022.10)
440. 中毒・環境障害の病院前対応	課長補佐	丹羽一晃	名古屋医専救急救命学科講義 (2022.10)
441. 災害の現場対応について	課長補佐	丹羽一晃	名古屋医専救急救命学科講義 (2022.10)
442. 災害と感染症対策について	課長補佐	丹羽一晃	愛知県放課後児童支援員キャリアアップ研修（名古屋市） (2022.11)
443. 災害と感染症対策について	課長補佐	丹羽一晃	愛知県放課後児童支援員キャリアアップ研修(岡崎市) (2022.12)
444. 病院前救護活動について	課長補佐	丹羽一晃	東海学園大学養護教諭課程講義 (2022.12)
445. 特殊災害における病院対応	課長補佐	丹羽一晃	MCLS大量殺傷テロ病院コース（東京医科歯科大学） (2022.12)

開発管理室

446.	入院患者コロナワクチン接種状況の把握 ～BIツールとDMSでつくるシステム開発の効率化～	センター長 奥村 幸光 他3名	第42回 医療情報連合大会 (2022.11)

遺伝相談室

447.	無侵襲的出生前遺伝学的検査(NIPT)受検妊婦における結果説明後も継続する不安の要因に関する縦断的検討	日比野 ゆかり 薬剤員 山岡 貴花 (※4名)	日本遺伝カウンセリング学会誌 43巻3号,99-110,2022.10 (2022.10)
448.	局所進行乳癌術後12年6ヶ月目の肝転移再発にリムパーザが著効したHBOCの一例	診療部長 木村 桂子	第28回 日本遺伝性腫瘍学会学術集会 (2022.6)
449.	BRCA2変異を認めた乳癌親子家系	診療部長 木村 桂子 他1名(※2名)	第30回 日本乳癌学会 学術総会 (2022.6-7)
450.	民間のDNAデータを用いた犯罪捜査に関する意識調査	書記 佐藤 倫 (※3名)	第31回 日本DNA多型学会 学術集会 (2022.11)

大阪掖済会病院(№451.～498.)

451.	指尖移植と手指骨延長後屈曲骨切りによる短指及びPIP関節欠損合併症例に対する手指機能再建の1例	上席副院長 五谷 寛之 他5名(※1名)	第40回 中部手外科研究会 (2023.1)
452.	手の造形手術を駆使して投球を可能にした全指切断の1例 ―中手骨を縦割して横方向に延長した造形術を含む―	上席副院長 五谷 寛之 他5名(※1名)	第39回 中部手外科研究会 (2022.1)
453.	PIP関節機能温存を主眼とした切断指再接着	上席副院長 五谷 寛之 他5名(※1名)	第65回 日本手外科学会 (2022.4)
454.	血管損傷を伴う手指重度外傷における静脈皮弁を用いた組織再建	上席副院長 五谷 寛之 他5名(※1名)	第48回 日本骨折治療学会 (2022.6)
455.	ウルトラマイクロサージャリーによる手指再建 ナノマイクロの将来に向けて	上席副院長 五谷 寛之 他5名(※1名)	第49回 日本マイクロサージャリー学会 (2022.12)
456.	Formative hand surgery for reconstruction of mangled hand using microsurgery and external fixator	Senior Vice President Hiroyuki Gotani 他2名	11th World society of reconstructive microsurgery (2022.6)
457.	Reconstruction of missing fingers using external fixator and microsurgery mainly for thumb	Senior Vice President Hiroyuki Gotani 他2名	11th World society of reconstructive microsurgery (2022.6)
458.	マイクロサージャリー手術後の組織延長による再建 手外科領域における再接着、組織移植後の骨軟部組織延長基本手技のマスター	上席副院長 五谷 寛之 他5名(※1名)	第49回 日本マイクロサージャリー学会 (2022.12)
459.	手の造形手術ベーシックマスター	上席副院長 五谷 寛之 他5名(※1名)	第2回 手の造形手術ワークショップ (2022.8)
460.	手指重度外傷に対する造形手術	上席副院長 五谷 寛之 他5名(※1名)	南大阪整形外科Webセミナー (2022.12)
461.	マイクロサージャリーと組織延長術による上肢重度外傷再建のコツとピットフォール ～疼痛管理を含めて	上席副院長 五谷 寛之 他5名(※1名)	第2回 南大阪手の語り部の会 (2023.2)

462. 創外固定とマイクロサージャリー融合手術による四肢再建への挑戦	上席副院長	五谷寛之 他5名（※1名）	第35回 日本四肢再建・創外固定学会 (2022.3)
463. 超音波検査が診断に有用であった手部痛の2例	診療局長	田中祥貴 他5名（※1名）	第65回 日本手外科学会 (2022.4)
464. 重度手指外傷後のPIP関節高度伸展拘縮3例に対するイリザロフミニ指用創外固定器の有用性	診療局長	田中祥貴 他5名（※1名）	第35回 日本四肢再建・創外固定学会 (2022.3)
465. 大きな手部皮膚欠損を伴う重度手部外傷に対する有茎後尺骨動脈皮弁の有用性	診療局長	田中祥貴 他5名（※1名）	第65回 日本手外科学会 (2022.4)
466. 神経麻痺を伴う閉鎖性上腕骨骨折に対する術中超音波検査の有用性	診療局長	田中祥貴 他5名（※1名）	第48回 日本骨折治療学会 (2022.6)
467. 超音波検査が有用であった慢性母指IP関節痛の3例	診療局長	田中祥貴 他5名（※1名）	第33回 日本整形外科超音波学会 (2022.7)
468. イリザロフミニ指用創外固定器が有用であった外傷性PIP関節高度伸展拘縮3例	診療局長	田中祥貴 他5名（※1名）	第139回 中部日本整形外科災害外科学会 (2022.10)
469. 顕微鏡を用いた切断指再接着後の屈筋腱剥離術	診療局長	田中祥貴 他5名（※1名）	第49回 日本マイクロサージャリー学会 (2022.12)
470. 手部外傷症例に対する有茎 Dorsal ulnar artery flap（後尺骨動脈皮弁）の使用経験	診療局長	田中祥貴 他5名（※1名）	第49回 日本マイクロサージャリー学会 (2022.12)
471. Outcomes of Rerouting the Palmaris Longus to Extensor Pollicis Longus Tendon Transfer through the Second Extensor Compartment	Medical Director	Yoshitaka Tanaka 他3名（※2名）	J Hand Surg Asian Pac (vol27) (2022)
472. First web space plasty using Ilizarov mini fixator in patients with complex hand injuries	Executive Vice President	Hamidullah Salimi Hiroyuki Gotani 他6名（※3名）	第35回 日本四肢再建・創外固定学会 (2022.3)
473. First web space plasty using Ilizarov mini fixator in patients with complex hand injuries	Executive Vice President	Hamidullah Salimi Hiroyuki Gotani 他6名（※3名）	Orthoplastic Surgery (vol9) (2022)
474. 橈骨遠位端骨折受傷早期の長母指伸筋腱に対する超音波評価	医長	八木寛久 他5名	第48回 日本骨折治療学会 (2022.6)
475. Innervated Digital Artery Perforator flapを用いた指尖部再建	医長	八木寛久 他5名	第49回 日本マイクロサージャリー学会 (2022.12)
476. 神経再生誘導チューブ（ナーブリッジ）の使用経験	医長	八木寛久 他5名	第65回 日本手外科学会 (2022.4)
477. 神経再生誘導チューブ（ナーブリッジ）の使用経験	医長	八木寛久 他5名	日本手外科学会雑誌掲載（39巻4号） (2022)
478. de quervain病患者に対するトリアムシノロン腱鞘内注射後の超音波評価	医員	岡本幸太郎 他4名	第65回 日本手外科学会 (2022.4)
479. 固有底側趾動脈内足底を走行するか？～超音波装置による評価～	医員	岡本幸太郎 他4名	第49回 マイクロサージャリー学会 (2022.12)

480. APTUS ulna shortening systemの成績	医員	宮島佑介 他5名（※1名）	第65回 日本手外科学会 (2022.4)
481. 尺骨短縮骨切り術の成績	医員	宮島佑介 他5名（※1名）	第48回 骨折治療学会 (2022.6)
482. 小指PIP高度拘縮に対するイリザロフ創外固定を利用した1例報告	医員	宮島佑介 他5名	第2回 手の造形手術ワークショップ (2022.8)
483. 小指PIP高度拘縮に対して指用イリザロフ創外固定を使用して治療した1例	医員	宮島佑介 他5名	第139回 中部整形外科災害外科学会 (2022.12)
484. 遺残正中動脈に生じた血栓症	医員	宮島佑介 他5名	第40回 中部日本手外科研究会 (2023.1)
485. Median Nerve Neuropathy Caused by Persistent Median Artery Thrombosis	医員	宮島佑介 他5名	PRS.global open (2022.3)
486. 便秘について	部長	湯川知洋	大阪市西区健康講座 (2022.10)
487. 当院におけるがん化学療法連携について	薬剤部部長	須摩恵子 他1名	大阪西医療連携フォーラム 第25回 病診連携会 (2023.2)
488. 大腸CTについて	放射線科主任	松葉貢丹夫 他1名	放射線科カンファランス (2022.4)
489. 造影超音波検査で小腸憩室出血を指摘し内視鏡止血を行えた1例	放射線科主任	前山美誠 他7名	日本超音波医学会 第33回 全国学術集会 (2022.5)
490. デュピュイトラン拘縮における超音波検査の有用性	放射線科主任	前山美誠 他5名	日本超音波整形外科 第33回 全国学術集会 (2022.7)
491. 皮下腫瘤について	放射線科主任	前山美誠 他1名	超音波研修会 (2022.8)
492. 皮下腫瘤について	放射線科主任	前山美誠 他1名	超音波研修会 (2023.2)
493. 腎におけるスクリーニング　見落としを防ぐコツ	放射線科主任	前山美誠 他1名	大阪臨床検査技師超音波講習会 (2022.11)
494.「超音波検査腎臓スクリーニング法」実技講師	放射線科主任	前山美誠 他1名	日本消化器がん検診学会 (2022.10)
495. 腹部超音波検査で小腸憩室出血を指摘し内視鏡止血を行えた1例	放射線科主任	前山美誠 他6名	日本消化器がん検診学会近畿地方学会 (2023.1)
496. 回腸末端憩室出血を造影エコーで指摘し得た1例	放射線科主任	前山美誠 他7名	大阪超音波研究会 (2022.3)
497. CT造影理論	放射線科主任	川畑潤一郎 他1名	放射線科カンファランス (2022.1)
498. 厚労省事業「介護施設等の感染症対策のための実地研修」	感染防止対策室室長	徳井直子	医療法人「博悠会」関連施設 (2022.9)

神戸掖済会病院（№499.～620.）

499. Spontaneous hyperinflation of a giant bulla of the non-ventilated lung during laparoscopic cholecystectomyunder one-lung ventilation：a case report	救急科部長	馬屋原　拓 他3名	JA Clin Rep.2022 Aug 9；8 (1)：62 (2022.8)
500. 右側臥位でにも著明な低酸素と一回換気量低下をきたした、人工呼吸管理中の右気胸の一例	初期研修医	浅野　純 他3名	日本内科学会 第238回 近畿地方会 (2022.12)
501. 意識障害を伴うレジオネラ肺炎の頭部MRI拡散強調画像（DWI）で脳梁膨大部および大脳皮質の高信号を認めた一例	初期研修医	東　佑樹 他3名	日本内科学会 第238回 近畿地方会 (2022.12)
502. 脳梗塞・TIA（前編）	副院長	中嶋千也	院内研修 (2022.6)
503. 脳梗塞・TIA（後編）	副院長	中嶋千也	院内研修 (2022.7)
504. 胸髄原発神経膠芽腫の一例	脳神経外科部長	富永貴志 他7名	第37回 日本脊髄外科学会 (2022.6)
505. めまぐるしく変わる時代の中で取り残されないように　～ある一人の脳神経外科医の立場から～	脳神経外科部長	富永貴志 他1名	北神戸脳神経外科カンファレンス (2022.12)
506. OA剥離とlayer by layer	脳神経外科医員	安田貴哉 他6名	第9回 瀬戸内脳神経外科手術研究会 (2022.5)
507. 脳卒中治療における新たな選択肢	脳神経外科医員	安田貴哉 他6名	神戸西部脳疾患シームレス勉強会 (2022.7)
508. Usefulness and notes for sheathless insertion technique of a balloon guiding catheter in acute ischemic stroke	脳神経外科医員	安田貴哉 他6名	the 16th Congress of world Federation of Interventional and Therepeutic Neuroradiology (2022.8)
509. Tandem lesionsでのバルーン付きガイディングカテーテルを用いたシースレス法による経上腕動脈アプローチの有用性	脳神経外科医員	安田貴哉 他6名	日本脳神経外科学会 第81回 学術集会 (2022.9)
510. 血栓回収術においてバルーン付きガイディングカテーテルをシースレス挿入する有用性と注意点	脳神経外科医員	安田貴哉 他6名	第38回 NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術集会 (2022.11)
511. アクセス困難なtandem lesion	脳神経外科医員	安田貴哉 他6名	AIS summit (2022.12)
512. 1.5T MRIで大動脈解離を見逃さないための急性期脳卒中プロトコールの工夫	脳神経外科医員	安田貴哉	stroke2023 (2023.3)
513. Tandem lesionを有する急性期脳梗塞に対して頚動脈ステント留置術と機械的血栓回収術を施行した2例	脳神経外科医員	山本健太	stroke2023 (2023.3)
514. 非定型骨折様の大腿骨ステム周囲骨折に対する治療経験	整形外科部長	小橋潤己	第24回 日本骨粗鬆症学会 (2022.9)

515.	大腿骨頚部骨折に対するOCM前外側アプローチによる人工骨頭置換術の短期成績	整形外科部長　小　橋　潤　己	第6回 日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 (2022.11)
516.	アイフレイルについて	眼科部長　周　　允　元	医局集談会 (2022.5)
517.	白内障の病態と治療	眼科部長　周　　允　元	病棟外来看護師勉強会 (2023.1)
518.	硝子体疾患と治療	眼科部長　周　　允　元	病棟外来看護師勉強会 (2023.3)
519.	掌蹠膿疱症に伴う関節炎症状に対しグセルクマブが著効した一例	皮膚科医員　川　村　真　実　他2名	日本皮膚科学会 第491回 大阪地方会 (2022.5)
520.	歯科金属により増悪したと考えられた好酸球性環状紅班の一例	皮膚科医員　川　村　真　実　他2名	日本皮膚科学会 第493回 大阪地方会 (2022.9)
521.	不全型ベーチェット病治療中に急性型神経ベーチェット病を発症した一例	皮膚科医員　笹　瀬　玲　奈　他2名	日本皮膚科学会 第492回 大阪地方会 (2022.7)
522.	S状結腸癌により外科手術をおこなった患者への術前術後の関わりで学んだこと	看　護　師　武　田　美　純	卒3ケースレポート院内発表 (2022.11)
523.	意識が回復しない患者の家族看護 ～フィンクの危機モデルを用いての関わり～	看　護　師　荒　木　美　咲	卒3ケースレポート院内発表 (2022.11)
524.	入院生活による認知機能低下予防のための関わり	看　護　師　宿　里　紗和子	卒3ケースレポート院内発表 (2022.11)
525.	在宅吸引指導を通して学んだこと ～フィンクの危機モデルを用いて家族の受容過程を振り返る～	看　護　師　松　岡　都佳紗	卒3ケースレポート院内発表 (2022.11)
526.	終末期癌患者のQOL向上を目指した関わり　～精神的苦痛の緩和も含めた関わりを通して～	看　護　師　呑　谷　翔　馬	卒3ケースレポート院内発表 (2022.11)
527.	認知症の悪化予防に向けた関わりについて　～日内リズムを整えたことでADL拡大につながった事例を通して～	看　護　師　山　根　智恵子	卒3ケースレポート院内発表 (2022.11)
528.	整形外科の術後離床が進まない意欲低下のある患者への関わりを振り返って	看　護　師　田　原　彩　未	卒3ケースレポート院内発表 (2022.11)
529.	認知症患者の日々の関わり方 ～リハビリが進まない患者との関わり～	看　護　師　泰　井　美　月	卒3ケースレポート院内発表 (2022.11)
530.	褥瘡に対する看護　～仙骨部の褥瘡の縮小に向けて～	看　護　師　木　元　摩　耶	卒3ケースレポート院内発表 (2022.11)
531.	抑うつ傾向の患者への「笑顔」を取り入れた関わり	看　護　師　吉　田　瑞　季	卒3ケースレポート院内発表 (2022.11)
532.	肝硬変末期症状により転倒を繰り返している患者の予防対策の取り組み	看　護　師　川　田　真由佳	卒3ケースレポート院内発表 (2022.11)
533.	緊急手術後、ICUに入室した不安を抱える家族との関わり　～アギュララの問題解決型危機モデルを用いた家族看護～	看　護　師　岩　崎　真　紀	卒3ケースレポート院内発表 (2022.11)

534. 咽頭摘出術を受けた患者の看護 ～個別性のある術前訪問を目指して～	看護師	小山賛美	卒3ケースレポート院内発表 (2022.11)
535. 脳梗塞を発症した患者・家族への自宅退院に向けた支援	看護師	寺岡佳恋	卒3ケースレポート院内発表 (2022.11)
536. 口腔ケアを通した口腔内出血のある患者への関わり　～口腔機能の改善による発声能力の再獲得～	看護師	井上綾華	卒3ケースレポート院内発表 (2022.11)
537. 人工股関節置換術術後の脱臼を繰り返す患者の脱臼指導	看護師	西村恒平	卒3ケースレポート院内発表 (2022.11)
538. 患者の考えや習慣に合わせた心不全指導	看護師	南　菜帆	卒3ケースレポート院内発表 (2022.11)
539. Door to balloon time短縮にむけた看護師の取り組み	主任看護師	重山政也 他2名	兵庫県民間病院協会 第17回 研究発表会　(2022.8)
540. 骨粗鬆症指導体制の整備に向けた取り組み　～骨粗鬆症マネージャーによる啓蒙活動～	主任看護師	西山　彩	兵庫県民間病院協会 第17回 研究発表会　(2022.8)
541. 重症ARDSの人工呼吸器装着患者への腹臥位を含めたポジショニングの効果 ～多職種連携のカンファレンスを通して学んだこと～	看護師	高畑優子	兵庫県民間病院協会 第17回 研究発表会　(2022.8)
542. コロナ禍における新人看護師教育の実際	副看護部長	中谷千鶴	ウィズコロナ社会に対応する新人看護師の育成シンポジスト (2022.12)
543. 安全に食事介助を実施するための取り組み	看護師	淡井仁美	卒5業務改善発表会　(2023.1)
544. 家族面会ルールについての取り組み	看護師	矢野芙実	卒5業務改善発表会　(2023.1)
545. ストック物品の紛失対策物品　～コストシールの徹底管理に向けて～	看護師	松本真波	卒5業務改善発表会　(2023.1)
546. 始業前残業時間の削減に向けた取り組み	看護師	村上芽以	卒5業務改善発表会　(2023.1)
547. スタッフが正しい感染対策を実施でき、病棟内感染を起こさない取り組み ～感染経路別対応・対策・技術を身に付ける～	看護師	岩崎佳代	卒5業務改善発表会　(2023.1)
548. 物品管理方法の見直し	看護師	後藤青波	卒5業務改善発表会　(2023.1)
549. 緊急入院を受ける順番を決めておくことで、入院を受け入れやすい体制を整える取り組み	看護師	青木麻樹	卒5業務改善発表会　(2023.1)
550. 病棟スタッフがADL機能の低下した患者の離床を促していくための取り組み ～リハビリカンファレンス導入に向けて～	看護師	加藤帆乃佳	卒5業務改善発表会　(2023.1)
551. 摂食・嚥下機能療法対象患者への定期的に正しく評価し、プラン変更が行えるようになるための取り組み	看護師	伊藤橘菜	卒5業務改善発表会　(2023.1)

552. 重症度、医療、看護必要度ＩのＡ（モニタリング及び処置等における）項目の知識の定着を図るための取り組み	看護師 三島　颯	卒５業務改善発表会	(2023.1)
553. 持参薬、中止薬取り扱いによるトラブル防止	看護師 北村茉由	卒５業務改善発表会	(2023.1)
554. 弾性包帯を用いた圧迫療法に関する３年間の取り組みについて	看護師 漁　貴子 他３名	2022年度 看護研究・看護実践発表会	(2023.3)
555. 術中急変に対するシミュレーションを取り入れた教育	看護師 大浦　聡 他３名	2022年度 看護研究・看護実践発表会	(2023.3)
556. 口腔ケアプロトコールに基づいたケアの定着の取り組み	看護師 冨士田 裕美 他２名	2022年度 看護研究・看護実践発表会	(2023.3)
557. 大腿骨頚部骨折後の退院調整への早期取り組み	看護師 村上芽以 他１名	2022年度 看護研究・看護実践発表会	(2023.3)
558. 一日ペア制を活用した清潔援助の取り組み	看護師 塩田亨香	2022年度 看護研究・看護実践発表会	(2023.3)
559. 心臓リハビリテーション通院を継続している患者のモチベーション	看護師 小阪玲衣 他２名	2022年度 看護研究・看護実践発表会	(2023.3)
560. １年間の学び、２年目に向けての課題	看護師 井本梨々亜	2022年度 看護研究・看護実践発表会	(2023.3)
561. １年を通して学んだことと２年目に向けての課題	看護師 小松由起	2022年度 看護研究・看護実践発表会	(2023.3)
562. １年を通して学んだこと、２年目への課題	看護師 田中希歩	2022年度 看護研究・看護実践発表会	(2023.3)
563. １年間を通して学んだことと２年目に向けての課題	看護師 森　彩音	2022年度 看護研究・看護実践発表会	(2023.3)
564. 認知症患者との関わりから学んだことと今後の課題	看護師 松田ひろみ	2022年度 看護研究・看護実践発表会	(2023.3)
565. １年を通して学んだことと２年目に向けての課題について	看護師 宮本知佳	2022年度 看護研究・看護実践発表会	(2023.3)
566. 意思疎通困難な患者さんへの対応	看護師 八尾帆乃佳	2022年度 看護研究・看護実践発表会	(2023.3)
567. １年を終えての自己の学びと今後の課題について	看護師 植松優奈	2022年度 看護研究・看護実践発表会	(2023.3)
568. 患者の全体像を把握する大切さ	看護師 各務ひかり	2022年度 看護研究・看護実践発表会	(2023.3)
569. 命を預かる責任の重さと観察の視点	看護師 佐藤恵子	2022年度 看護研究・看護実践発表会	(2023.3)
570. 患者の変化に気付き、寄り添う看護	看護師 中山史菜	2022年度 看護研究・看護実践発表会	(2023.3)
571. １年間を通して学んだことと２年目に向けての課題	看護師 中郷美夕	2022年度 看護研究・看護実践発表会	(2023.3)

572. 1年間で学んだこと、2年目に向けて	看護師	大西敦士	2022年度 看護研究・看護実践発表会 (2023.3)
573. 1年間を通して学んだことと2年目に向けての課題	看護師	渕之上ゆう紀	2022年度 看護研究・看護実践発表会 (2023.3)
574. 1年を通して学んだことと2年目に向けての課題	看護師	住田美月	2022年度 看護研究・看護実践発表会 (2023.3)
575. 1年間を通して学んだことと2年目に向けての課題	看護師	高橋綾音	2022年度 看護研究・看護実践発表会 (2023.3)
576. 1年を通しての学びと2年目に向けての課題	看護師	武智琴子	2022年度 看護研究・看護実践発表会 (2023.3)
577. 1年間の振り返りと今後の課題	看護師	荒木孝之	2022年度 看護研究・看護実践発表会 (2023.3)
578. コミュニケーションからつなげる看護	看護師	岡崎加奈	2022年度 看護研究・看護実践発表会 (2023.3)
579. 1年目の学びと2年目の課題	看護師	平賀芽実	2022年度 看護研究・看護実践発表会 (2023.3)
580. 患者の言葉に背を押された1年	看護師	永井亜美	2022年度 看護研究・看護実践発表会 (2023.3)
581. 1年を通して学んだことと2年目に向けての課題	看護師	竹村玲亮	2022年度 看護研究・看護実践発表会 (2023.3)
582. 1年間を通して学んだことと2年目に向けての課題	看護師	淵田真央	2022年度 看護研究・看護実践発表会 (2023.3)
583. 急性期における看護介入の難しさ	看護師	石田彩華	2022年度 看護研究・看護実践発表会 (2023.3)
584. 報告連絡相談とフィジカルアセスメントの大切さ	看護師	松嶋夏未	2022年度 看護研究・看護実践発表会 (2023.3)
585. 患者にとって有益な看護を行うために	看護師	南　沙綾	2022年度 看護研究・看護実践発表会 (2023.3)
586. COVID-19中等症Ⅰ患者に対するレムデシビルと中和抗体薬の併用効果について	主任薬剤師	藤原央樹 他1名	第70回 日本化学療法学会西日本支部総会 (2022.11)
587. COVID-19専用病棟における抗菌薬使用状況について	薬剤師	神足杏子 他1名	第69回 日本化学療法学会東日本支部総会 (2022.11)
588. ARBが契機となり発症した低Na血症の一例について	薬剤師	寳諸あい 他4名	近畿薬剤師合同学術集会2023 (2023.2)
589. 当院における薬剤師の褥瘡治療への取り組みについて	薬剤師	内橋宜裕 他4名	近畿薬剤師合同学術集会2023 (2023.2)
590. 血液培養の意義と正しい採取方法をまなぶ	検査部技師長	高橋　慶 他11名	検査部内研修会 (2022.12)
591. 真菌（白癬菌）の鏡検方法について	主任検査技師	高橋俊夫 他9名	検査部内研修会 (2023.1)

592. 一工夫で血流情報を付加　基礎知識を活かそう	診療放射線技師	前　木　大　和	Gyro Cap2022　(2022.8)
593. 胸部レントゲン撮影	診療放射線技師	北　村　朋　也	院内発表　(2022.9)
594. 胸部レントゲン撮影	診療放射線技師	北　村　朋　也	院内発表　(2022.10)
595. 失語症に対する没入型Virtual Realityを用いたIADL課題の検討	作業療法士	今　田　泰　裕（※3名）	第59回 日本リハビリテーション医学会学術集会　(2022.6)
596. 没入型バーチャルリアリティー技術を用いて外出・買い物動作の評価を行った左同名半盲の一例	作業療法士	今　田　泰　裕（※3名）	第56回 日本作業療法学会　(2022.9)
597. 右頭頂葉脳出血後に生じた一側性の着衣障害	作業療法士	今　田　泰　裕　他3名（※1名）	第46回 日本高次脳機能障害学会学術集会　(2022.12)
598. 半側空間無視症例に対する没入型バーチャルリアリティーを用いた評価	作業療法士	今　田　泰　裕　他2名	STROKE 2023　(2023.3)
599. 失語症を伴わないタイプライティング障害に対する要因と介入方法の検討	作業療法士	中　田　佑　香	リハビリテーション科症例報告会　(2022.5)
600. 感覚識別練習を実施し、実用手となった重度感覚鈍麻の一例	作業療法士	中　田　佑　香	リハビリテーション科症例報告会　(2022.10)
601. 中等度片麻痺患者に対して病棟生活で麻痺手の使用頻度向上を図った症例	作業療法士	石　田　千紗美	リハビリテーション科症例報告会　(2022.7)
602. 脳卒中後うつ状態（PSD）を呈した患者の介入と経路	作業療法士	石　田　千紗美	リハビリテーション科症例報告会　(2023.2)
603. 大腿骨近位部骨折のリハビリテーションパスと進行表を使用し、予後予測を検討した一症例	理学療法士	石　上　紗　吏	リハビリテーション科症例報告会　(2022.5)
604. 入院期間の短縮を期待し一期性両側人工膝関節全置換術を施行したが、術後感染が生じた為入院期間が長期化した症例	理学療法士	石　上　紗　吏	リハビリテーション科症例報告会　(2022.10)
605. 誤嚥性肺炎後に3食経口摂取可能となった症例	言語聴覚士	明　神　ひかる	リハビリテーション科症例報告会　(2022.9)
606. 右視床出血後、高次脳機能障害を呈し日常生活で記憶を補うために代償法を定着させた症例	言語聴覚士	明　神　ひかる	リハビリテーション科症例報告会　(2023.3)
607. TKA術後歩行に着目した一症例	理学療法士	清　水　優　希	リハビリテーション科症例報告会　(2022.9)
608. 脳梗塞再発にて早期移動手段獲得に向け介入した症例	理学療法士	清　水　優　希	リハビリテーション科症例報告会　(2022.9)
609. 人工股関節全置換術施行後生じたX線学的脚長差に対し過大な自覚的脚長差を認めた症例	理学療法士	酒　井　麻　央	リハビリテーション科症例報告会　(2022.9)
610. 脳幹梗塞発症にて出現した非麻痺側の過剰努力に対し体性感覚入力を行い立位保持獲得に至った症例	理学療法士	酒　井　麻　央	リハビリテーション科症例報告会　(2023.2)

611. 大腿四頭筋筋力低下及び防御性収縮による膝関節屈曲制限に着目し復職に至ったTKA施行後の一症例	理学療法士	堀田 実希	リハビリテーション科症例報告会 (2022.9)
612. 殿筋群の筋力強化及び骨盤アライメントに着目したTHA施行後の一症例	理学療法士	堀田 実希	リハビリテーション科症例報告会 (2023.3)
613. 末梢神経障害をきたし、深部感覚低下によるバランス不良で動的立位保持獲得に難渋した上腕骨近位部骨折の症例	理学療法士	木下 裕太	リハビリテーション科症例報告会 (2023.3)
614. 糖尿病の食事療法の目的・意義・指導の実際	主任管理栄養士	岡本 貴子 他1名(※8名)	糖尿病療養指導士兵庫県連合会主催「糖尿病教育セミナー2022」 (2022.10)
615. おうち時間いかがお過ごしですか「体の中の小さな住人」	主任管理栄養士	岡本 貴子	ヤクルト企業情報誌「乳酸菌のココロ」2022年11月号 (2022.11)
616. 栄養管理と早期栄養介入管理加算へのかかわり ～それぞれの施設・立場から～	主任管理栄養士	岡本 貴子 他1名(※6名)	第24回 兵庫NST研究会WEB学術講演会 ～早期栄養介入について考える～ (2022.11)
617. 経腸栄養療法の実際	主任管理栄養士	岡本 貴子 他1名(※15名)	令和4年度 神戸大学エキスパートメディカルスタッフ育成プログラム「栄養医療コース：兵庫NST合同研修プログラム」 (2022.12)
618. 栄養指導手順の検討	管理栄養士	藤原 紗英 他5名	第26回 日本病態栄養学会年次学術集会 (2023.1)
619. 栄養指導実践報告	管理栄養士	藤原 紗英 他5名	糖尿病療養指導士兵庫県連合会主催 実践的な栄養指導が学べる研修会 (2023.3)
620. 知ットク！食事のきほん	管理栄養士	中 惇美	日本海事新聞 第21902号 (2023.3)

門司掖済会病院 (№621.～634.)

621. 循環器外来における消化器症状	名誉院長	阿部 功	ゼリア新薬 講演 (2022.10)
622. A novel intraoperative navigation system for laparoscopic liver resection using real-time virtual sonography	副院長・外科部長	坂田 晃一朗 他1名	The 5th Congress of Asian Surgical Ultrasound Society (Gangnam Samjung Hotel, Seoul, Korea) (2022.10)
623. 肝臓の病気を早期発見「肝機能検査」で長寿を目指せ	副院長・外科部長	坂田 晃一朗 他1名	健康講座 (2023.2)
624. 心臓の感染症	内科部長	藤島 慎一郎	院内感染防止対策委員会研修会 (2022.4)
625. 特定健診を受診した未診断、未治療高血圧者の特徴	内科部長	藤島 慎一郎 他1名(※3名)	第29回 国際高血圧学会 (2022.10)
626. 特定健診受診者の血圧管理状況、年齢層別の比較	内科部長	藤島 慎一郎 他2名(※3名)	第33回 日本老年医学会九州地方会 (2023.3)

627.	当院でのCKD診療について	内科医長 山﨑景介	KITAKYUSHU Chronic Disease Seminar (2022.6)
628.	地域一般住民における尿中NT-proBNPと心血管病の関連：久山町研究	内科医長 山﨑景介	第4回 臨床研究と統計を考える回 (2022.11)
629.	HIF-PH阻害薬におけるがん・網膜症のスクリーニング	内科医長 山﨑景介	Nephrologist Conference in Kitakyushu (2023.2)
630.	前舌腺由来と考えられた腺癌NOSの1例	歯科口腔外科医長 櫻井拓真 他2名（※3名）	第67回 日本口腔外科学会総会学術大会 (2022.11)
631.	デンタルインプラントについて	歯科口腔外科医長 櫻井拓真	「なごみ」門司掖済会病院広報誌（冬号） (2022)
632.	経口リン酸ナトリウム製剤により急性リン酸腎症を発症した一例	内科医員 友岡知加 他3名	第52回 日本腎臓学会東部学術大会 (2022.10)
633.	ブロム酸塩（コールドパーマ第2液）中毒による慢性腎臓病で維持透析導入となった症例について	内科医員 東和樹 他4名	第52回 日本腎臓学会西部学術大会 (2022.10)
634.	中小病院の看護部門が行った在宅訪問指導・看護についての取り組みと実践報告	認定看護師 坂本恵 他7名	第37回 日本がん看護学会学術集会 (2023.2)

施設の整備拡充

令和4年度の病院・診療所・介護老人保健施設、看護専門学校の増改築工事等及び医療機器・一般備品等に関する整備拡充については、次のとおりである。

１．新築及び増改築工事等

施　設	工　事　名	整備時期
小樽掖済会病院	１．戸田建設 建物工事 7階換気方式変更工事	Ｒ４年１２月
	２．戸田建設 機械設備工事 7階換気方式変更工事	Ｒ４年１２月
横浜掖済会病院	１．ＬＥＤ工事	Ｒ５年　３月
名古屋掖済会病院	１．院内ケーブル構築工事	Ｒ４年　６月
	２．外壁補修工事（クラック・欠損補修）	Ｒ４年１０月
	３．外来棟ＡＣ－２８全熱交換器修繕	Ｒ４年１１月
	４．コスモクリーンゾーン 「ＣＴ－ＸｏⅢ型」メンテナンス	Ｒ４年１２月
	５．管理棟受変電設備改修工事	Ｒ５年　３月
	６．非常用照明装置　本体及びバッテリー取替	Ｒ５年　３月
大阪掖済会病院	１．中央監視装置更	Ｒ４年　５月
	２．電気錠及び入退室管理設備更新	Ｒ４年　９月
	３．医局・５-７階ＳＳ系統ＰＡＣ更新	Ｒ５年　３月
門司掖済会病院	１．検診センター空調更新工事	Ｒ４年　８月
	２．貫流ボイラー更新工事	Ｒ４年　９月

２．医療機器・一般備品等

施　設	機　器　名	購入年月	数	備考
小樽掖済会病院	１．SSI DPCレセプト請求システム（医事）	Ｒ４年　５月	1	
	２．オリンパス　内視鏡システム一式（ＣＶ－１５００シリーズ＋ＣＶ－２９０シリーズ）	Ｒ４年　７月	1	
	３．東レメディカル　血液浄化装置ＴＲ－２０２０	Ｒ４年　７月	1	（コロナ補助金）重点医療機関設備事業
	４．キャノンメディカル乳房Ｘ線撮影装置Ｐｅ．ｒｕ．ｒｕ　ＤＩＧＩＴＡＬ　ＭＧＵ－１０００Ｄ	Ｒ４年　８月	1	令和4年度　公益財団法人　日本財団助成事業
	５．ストライカー　１６８８ＡＩＭ　４Ｋカメラコンソール　１６８８０１０００００	Ｒ４年　９月	1	
	６．ストライカー　Ｌ１１　光源装置　０２２０２３０３００	Ｒ４年　９月	1	
	７．ストライカー　１６８８ＡＩＭ　４Ｋカメラヘッド　インテグレーテッドカプラー付　１６８８６１０１２２	Ｒ４年　９月	1	
	８．富士フィルム　一般撮影装置ＢＥＮＥＯ－ｅＸ	Ｒ４年　９月	1	（コロナ補助金）重点医療機関設備事業
	９．ＣＡＮＯＮ 全身用Ｘ線ＣＴ装置Ａｑｕｉｌｉｏｎ　Ｐｒｅｃｉｓｉｏｎ	Ｒ４年　９月	1	（コロナ補助金）重点医療機関設備事業
	10．富士フィルム 一般撮影装置ＢＥＮＥＯ－Ｆｘ	Ｒ４年　９月	1	（コロナ補助金）重点医療機関設備事業

施　設	機　器　名	購入年月	数	備考
小樽掖済会病院	11．富士フィルム ポータブル超音波画像装置　ＡＲＩＥＴＴＡ ６５ＬＥＬＶ	Ｒ４年　９月	1	（コロナ補助金）重点医療機関設備事業
	12．インフォコム　勤怠管理システム一式	Ｒ４年１１月	1	
	13．ソフトウェアサービス　サーバリプレイス　関連　一式	Ｒ５年　１月	1	
	14．富士フィルムヘルスケア　デジタルＸ線透視撮影システム　ＣＵＲＥ ＶＩＳＴＡ　Ａｐｅｘ	Ｒ５年　２月	1	（コロナ補助金）重点医療機関設備事業
宮城利府掖済会病院	１．自動分析装置キャノンメディカル ＴＢＡ－１２０ＴＲ	Ｒ４年　７月	1	令和4年度　公益財団法人　日本財団助成事業
	２．前室ユニット６００一式	Ｒ５年　２月	1	令和4年度新型コロナウイルス受入体制確保事業補助金，宮城県
	３．環境封じ込めユニット一式	Ｒ５年　２月	1	令和4年度新型コロナウイルス受入体制確保事業補助金，宮城県
横浜掖済会病院	１．内視鏡用スコープ一式	Ｒ４年　７月	1	令和4年度　公益財団法人　日本財団助成事業
	２．全自動採血管準備装置	Ｒ５年　２月	1	
名古屋掖済会病院	１．無影灯マルチカラー　デネブＬＥＤ ７０００ＭＣ＋７０００ＭＣ	Ｒ４年　４月	1	
	２．超音波画像診断装置 Ｓｏｎｏｓｉｔｅ　ＰＸ	Ｒ４年　４月	1	
	３．ヘモスフィア　ＨＥＭ１	Ｒ４年　４月	1	

施　設	機　器　名	購入年月	数	備考
名古屋掖済会病院	４．内視鏡システム　ＥＶＩＳ　Ｘ１	Ｒ４年　５月	1	
	５．上部消化管汎用ビデオスコープ ＧＩＦ－１２００Ｎ	Ｒ４年　５月	1	
	６．高圧蒸気滅菌器　ＲＸ－３２ＦＮＷ	Ｒ４年　５月	1	
	７．汎用超音波画像診断装置 Ｖｉｖｉｄ　Ｔ９	Ｒ４年　６月	1	
	８．ＥＬＡＮ４　ｅｌｅｃｔｒｏ ドリルシステム	Ｒ４年　７月	1	
	９．インファウォーマ　ｉ　２３５８２	Ｒ４年　８月	1	
	10．安全キャビネット ＢＨＣ－１６０７ⅡＢ２	Ｒ４年　８月	1	
	11．汎用超音波画像診断装置 Ｖｉｖｉｄ　Ｅ９５	Ｒ４年　９月	1	令和4年度　公益財団法人　日本財団助成事業
	12．可搬式歯科用ユニット ユーティリオⅡ	Ｒ４年　９月	1	
	13．内視鏡画像管理システム　Ｍ４	Ｒ４年　９月	1	
	14．医用画像管理システム ＳＹＮＡＰＳＥ	Ｒ４年　９月	1	
	15．トランソニック社　超音波血流計 ＡｕｒｅＦｌｏ　ＨＴ３５０	Ｒ４年１１月	1	
	16．Ｈａｌｌ　ＭｉｃｒｏＦｒｅｅ コードレススモールボーンパワー システム　ＰＲ８０００ＳＢ	Ｒ４年１１月	1	
	17．汎用超音波画像診断装置 Ｖｅｎｕｅ　Ｇｏ	Ｒ４年１２月	1	

施　設	機　器　名	購入年月	数	備考
名古屋掖済会病院	18．腎盂尿管ビデオスコープ ＵＲＦ－Ｖ３	Ｒ５年　１月	1	
	19．ＣｏｒｏＦｌｏｗ　カーディオバスキュラー　システム　１２０００Ｊ	Ｒ５年　１月	1	
	20．臨床用ポリグラフ ＲＭＣ－５０００	Ｒ５年　２月	1	
	21．汎用超音波画像診断装置 Ｖｉｖｉｄ　Ｓ７０Ｎ	Ｒ５年　３月	1	
	22．Ｅ－１００　Ｇｅｎｅｒａｔｏｒ ３７８８４８	Ｒ５年　３月	1	
	23．超音波診断装置　ＡＲＩＥＴＴＡ ６５０	Ｒ５年　３月	1	
	24．ＦｏｒｔｉＧａｔｅ　２００Ｆ ＦＧ－２００Ｆ－ＵＳ	Ｒ５年　３月	2	
	25．無影灯マルチカラー　デネブ ＬＥＤ７０００ＭＣＬＣＨ	Ｒ５年　３月	2	
	26．脳波計　ＥＥＧ－１２７８	Ｒ５年　３月	1	
	27．エルベＶＩＯ３／ＡＰＣ３ 高周波手術装置	Ｒ５年　３月	1	
	28．Ａｉｒ　Ｆｏｒｃｅ　エアフォース ＡＳＫ－１２００ＤＨ	Ｒ５年　３月	1	
大阪掖済会病院	１．６４列１２８スライスモバイル ワーク　フローＣＴ装置	Ｒ４年　５月	1	
	２．電子カルテシステムサーバ仮想化 （ｉＳｔｏｒａｇｅＶシリーズ）	Ｒ４年　８月	1	

施　設	機　器　名	購入年月	数	備考
大阪掖済会病院	３．モニタリングシステム一式　（医療機器管理システムＣＥＩＡ他）	Ｒ４年　９月	1	令和3年度大阪府新型コロナウイルス感染症重点医療機関等設備整備事業
	４．汎用超音波画像診断装置 Ｖｉｖｉｄ　ｉｑ　Ｕｌｔｒａ Ｅｄｉｔｉｏｎ（展示品）	Ｒ４年１１月	1	
	５．Ｘ線診断装置　フラットディテクター型ミニＣアーム	Ｒ４年１２月	1	
	６．無影灯ＩＸＭ　ＣＪ一式	Ｒ５年　２月	3	
	７．全自動分割分包機 Ｃｒｅｓｔａｇｅ－Ｎａｍｏ	Ｒ５年　３月	1	
神戸掖済会病院	１．5階南ルームエアコン新設一式（6室分）	Ｒ４年　４月	1	
	２．眼科用ヤグレーザー手術装置一式	Ｒ４年　４月	1	
	３．全自動輸血検査システム一式	Ｒ４年　４月	1	
	４．デジタルＸ線検査システム一式	Ｒ４年　６月	1	
	５．上部消化管汎用ビデオスコープ	Ｒ４年　６月	1	
	６．４Ｋ３Ｄ腹腔鏡カメラ一式	Ｒ４年　７月	1	
	７．Ｃｌａｉｏ眼科単診療科パッケージ一式	Ｒ４年　７月	1	
	８．無影灯 ５ルーム一式	Ｒ４年　７月	1	
	９．眼科手術用顕微鏡システムＰｒｏｖｅｏ８	Ｒ４年　８月	1	令和4年度　公益財団法人　日本財団助成事業
	10．簡易陰圧装置一式	Ｒ４年　９月	1	兵庫県コロナウィルス　事業補助金

施　設	機　器　名	購入年月	数	備考
神戸掖済会病院	11．アンギオ装置テーブルトップ アップグレード一式	Ｒ４年１０月	1	
	12．超音波手術装置ＳＯＮＯＰＥＴ ＩＱ	Ｒ４年１０月	1	
	13．Ｔ７ヘルメット一式	Ｒ４年１２月	1	
	14．食器・トレイ洗浄機	Ｒ５年　１月	1	
	15．自動火災報知機設備一式	Ｒ５年　２月	1	
門司掖済会病院	１．脳波計	Ｒ４年　５月	1	
	２．採血管準備装置	Ｒ４年　５月	1	
	３．下部内視鏡システム	Ｒ４年　８月	1	
	４．ヤグレーザー	Ｒ４年１０月	1	
	５．ＣＴ装置	Ｒ５年　２月	1	
	６．ワークステーション	Ｒ５年　２月	1	
	７．手洗装置	Ｒ５年　２月	1	
長崎掖済会病院	１．岩通デジタルコードレス電話機	Ｒ４年　６月	1	
	２．ＰＡＣＳサーバー機器更新 放射線科	Ｒ４年　９月	1	
	３．超音波診断装置　検査室	Ｒ４年１２月	1	令和４年度　公益財団法人日本船員福利厚生基金財団補助金
	４．自動遺伝子解析装置ＧＸ－ＩＶ	Ｒ５年　２月	1	長崎県医療政策課

病院、診療所、介護老人保健施設及び看護専門学校の現状

医 療 施 設

（令和５年４月現在）

施　設　名	所　在　地　等	診　療　科　目	病床数
小樽掖済会病院 （公財）日本医療機能評価機構認定〈審査体制区分 一般病院２（3rdG:Ver.2.0）〉	〒047-0032 小樽市稲穂 1-4-1 TEL　0134(24)0325 FAX　0134(24)0326 HP　https://www.otaru-ekisaikai.jp	内科 消化器内科 胃腸内科 肝臓内科 外科 消化器外科 肛門外科 乳腺外科 整形外科（休診中） 麻酔科	138
宮城利府掖済会病院 	〒981-0103 宮城県宮城郡利府町 森郷字新太子堂 51 TEL　022(767)2151 FAX　022(767)2156 HP　https://www.rifuekisaikai.com	内科 呼吸器科 消化器科 循環器科 漢方内科 外科 整形外科 皮膚科 泌尿器科 こう門科 ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科 放射線科	100 （うち障害者病棟 50 床）
横浜掖済会病院 	〒231-0036 横浜市中区山田町 1-2 TEL　045(261)8191 FAX　045(261)8149 HP　http://www.yokohama-ekisaikai.com	内科 脳神経内科 循環器科 消化器内科 血液内科 呼吸器科 外科 整形外科 消化器外科 こう門科 眼科 ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科 放射線科 麻酔科	151

施　設　名	所　在　地　等	診　療　科　目	病床数
名古屋掖済会病院 （公財）日本医療機能評価機構認定〈審査体制区分 一般病院 2 (3rdG:Ver.2.0)〉	〒454-8502 名古屋市中川区松年町 4-66 TEL　052(652)7711 FAX　052(652)7783 HP　https://www.nagoya-ekisaikaihosp.jp	内科 呼吸器内科 循環器内科 膠原病内科 消化器内科 血液内科 糖尿病・内分泌内科 腎臓内科 脳神経内科 腫瘍内科 外科 消化器外科 乳腺外科 呼吸器外科 心臓血管外科 肛門外科 整形外科・手外科 脳神経外科 形成外科 精神科 リウマチ科 小児科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科 放射線科 病理診断科 救急科 麻酔科 緩和ケア内科 歯科 歯科口腔外科 健康管理科 産業保健科	602 （うち地域包括ケア病棟 47 床）
大阪掖済会病院 （公財）日本医療機能評価機構認定〈審査体制区分 一般病院 1 (3rdG:Ver.1.1)〉	〒550-0022 大阪市西区本田 2-1-10 TEL　06(6581)2881 FAX　06(6584)1807 HP　https://osaka-ekisaikai.jp	内科 糖尿病・代謝内分泌内科 循環器内科 消化器内科 神経内科 外科 消化器外科 整形外科 ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科 放射線科 麻酔科	135
神戸掖済会病院 	〒655-0004 神戸市垂水区学が丘 1-21-1 TEL　078(781)7811 FAX　078(781)1511 HP　http://www.kobe-ekisaikai.or.jp	内科 消化器内科 腎臓内科 呼吸器内科 糖尿病内科 循環器内科 リウマチ科 外科 消化器外科 乳腺外科 血管外科 肛門外科 外科（がん化学療法）心臓血管外科 形成外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 放射線科 ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科 麻酔科 救急科 病理診断科 脳神経内科	325 （うち地域包括ケア病棟 54 床）

施　設　名	所　在　地　等	診　療　科　目	病床数
門司掖済会病院 	〒801-8550 北九州市門司区清滝 1-3-1 TEL　093(321)0984 FAX　093(331)7085 HP　http://www.ekisaikai-moji.jp/	内科 脳神経内科 外科 胃腸外科 胃腸内科 整形外科 耳鼻咽喉科 泌尿器科 眼科 婦人科 皮膚科 麻酔科 歯科 歯科口腔外科 放射線科 ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科	199 （うち地域包括ケア病棟 55 床）
長崎掖済会病院 	〒850-0034 長崎市樺島町 5-16 TEL　095(824)0610 FAX　095(822)9985 HP　http://www.ekisaikai-nagasaki.jp	内科 消化器内科 心臓内科 呼吸器内科 気管食道内科 糖尿病内科 脂質代謝内科 感染症内科 老年内科 内視鏡内科 腎臓内科 外科 内分泌外科 消化器外科 呼吸器外科 乳腺外科 肛門外科 気管食道外科 腫瘍外科 整形外科 ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科 リウマチ科 皮膚科 泌尿器科 性感染症泌尿器科 放射線科 麻酔科	137 （うち地域包括ケア病棟 54 床）
長崎掖済会病院 在宅事業所 ・訪問看護ステーションえきさい ・居宅介護支援事業所えきさい	〒850-0034 長崎市樺島町 3-7 スタービル 101 号 TEL　095(818)7771 FAX　095(818)7773 TEL　095(818)7772 FAX　095(818)7773		
名古屋掖済会病院 附属埠頭診療所 	〒455-0033 名古屋市港区港町 1-9 TEL　052(651)1158 FAX　052(651)1159	内科 小児科 外科 皮膚科 放射線科	

介護老人保健施設

施　設　名	所　　在　　地　　等	定　　員
介護老人保健施設 えきさい横浜 	〒231-0036 横浜市中区山田町 1-1 TEL　045(261)8821 FAX　045(261)8838 HP　http://www.ekisai-yokohama.com	入所者　88 名(うち認知症専門棟２６名) 通所者　10 名
介護老人保健施設 えきさい大阪 	〒550-0022 大阪市西区本田 2-1-10 TEL　06(6581)7655 FAX　06(6581)7656 HP　http://www.ekisai-osaka.jp	入所者 100 名 通所者　40 名

養成施設

施　設　名	所　　在　　地　　等	課　　程	定　員
えきさい看護専門学校 	〒454-0854 名古屋市中川区松年町 4-48 TEL　052(652)7782 FAX　052(654)4590 HP　https://ekikan. nagoya-ekisaikaihosp.jp/	3 年課程 (全日制･修業年限 3 年)	1～3 学年 各 40 名